

開設母体

要件
芸術専門学群

専門基礎科目(共通)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YAA1011	美術史学概論	1	1.0	1・2	春AB	火1	寺門 臨太郎, 林みちこ, 水野 裕史, 武田 一文	美術史学の目的、対象、方法論の基礎について、領域担当教員各々の専門分野に応じて具体的事例を挙げながら講述する。	オンライン(オンデマンド型)
YAB1011	芸術支援学概論	1	1.0	1・2	春AB	金3	石崎 和宏, 直江 俊雄, 箕輪 佳奈恵, 吉田 奈穂子	現代社会における芸術活動の環境形成を支援するための理論と方法について、基礎的な知識を学ぶ。	対面
YAC1011	洋画概論	1	1.0	1・2	春AB	火1	星 美加	西洋絵画史・日本洋画史の一連の流れと関係について概説し、今日に至るまでの日本の洋画について理解を深める。同時に西洋美術史、洋画史上の主要な画家とその作品の美術史的意義について学ぶ。	対面
YAC1012	素描基礎演習1	2	2.0	1・2	春C	火・金4, 5	仏山 輝美, 程塚 敏明, 福満 正志郎, 山本 浩之, 諏訪 智美, 星 美加	静物をモチーフとした素描(木炭または鉛筆)により、基礎的な表現力と創造的な感覚を養う。各課題の終了後、テーマのチェック及び講評を行う。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YAC1112	油彩画基礎演習1	2	2.0	1・2	春AB	火5, 6	星 美加	油彩画の制作に取り組み、その表現効果に対する理解を深め、素材に対する基本的知識・技能を養う。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YAC1122	油彩画基礎演習2	2	2.0	1・2	秋AB	火5, 6	仏山 輝美	油彩画の制作に取り組み、その表現効果に対する理解を深め、素材に対する基本的知識・技能を養う。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YAD1011	版画概論	1	1.0	1・2	春AB	金3	田島 直樹	版画を理解する上で重要な技法についての概説。版画の基本的4版種について、その発生、原理、制作手順、作品例について解説する。	対面
YAD1012	版画基礎演習	2	2.0	1・2	秋AB	火5, 6	田島 直樹	ふたつの異なる版種の版画制作を通して、版表現の幅広さを体感する。本授業では、エッチング(腐蝕銅版画)とスクリーンプリントの作品制作を行なう。	人数制限あり 実務経験教員 対面 原則として、版画概論を履修しておくこと。
YAE1011	日本画概論	1	1.0	1・2	秋AB	火1	程塚 敏明, 諏訪 智美	絵画の中でジャンル分けされる「日本画」とは何か。その基本的意味及び特徴等について日本絵画史をたどりながら、技法・材料・概念の変遷を考察し、現代の日本画に対する理解を深める。	対面
YAE1022	素描基礎演習2	2	2.0	1・2	秋C	火・金4, 5	仏山 輝美, 程塚 敏明, 福満 正志郎, 山本 浩之, 諏訪 智美, 星 美加	静物をモチーフとした素描(木炭または鉛筆)により、基礎的な表現力と創造的な感覚を養う。各課題の終了後、テーマのチェック及び講評を行う。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YAE1112	日本画基礎演習1	2	2.0	1・2	春AB	火5, 6	程塚 敏明	モチーフ(リンゴ)の細密写生を基に、水干絵具による日本画制作を行う。日本画材料に対する基礎的な知識・技能を養う。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YAE1122	日本画基礎演習2	2	2.0	1・2	秋AB	火5, 6	程塚 敏明	モチーフ(鳥の剥製)の細密写生を基に、水干絵具・岩絵具による日本画制作を行う。日本画材料に対する基礎的な知識・技能を養う。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YAF1011	彫塑概論	1	1.0	1・2	秋AB	火1	宮坂 慎司	彫塑の意義、特質その他彫塑全般について専門的立場から、その概要を理論的に解明する。意義については語義から説き、造形的具体的な面からの解明を加え、その造形性・造形要素等に触れ、彫塑に対する認識を深める。	対面
YAF1012	彫塑基礎演習1	2	2.0	1・2	春AB	火5, 6	宮坂 慎司, 大原 央聡, 川島 史也	人物モデルを使用し、塑造による頭像を制作する。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YAF1022	彫塑基礎演習2	2	2.0	1・2	秋AB	火5, 6	川島 史也, 大原 央聡, 宮坂 慎司	木彫による小作品制作を行い、立体に対する観察力と素材への理解を深め、基礎的な立体造形力を養う。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YAF1032	彫塑基礎演習3	2	2.0	1・2	春AB	木5, 6	宮坂 慎司, 大原 央聡	塑造による小品制作を通して立体に対する観察力、認識力を深め基礎的な立体造形力を養う。また粘土原形から石膏に移しかえる石膏型取り技法についても習得する。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YAG1011	書概論	1	1.0	1・2	春AB	金6	菅野 智明	書の意義や芸術性、中日書道の歴史を概説し、表現・鑑賞など字書の範囲や特性についても講述する。	対面
YAG1012	書基礎演習I-1	2	2.0	1・2	春AB	金4, 5	尾川 明穂, 高橋 佑太	漢字と仮名の古典的名跡を学び、実作面における基礎力の育成をめざす。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YAG1022	書基礎演習I-2	2	1.0	1・2	春C	随時	尾川 明穂	仮名の古典的名跡を学び、実作面における基礎力の養成をめざす。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YAH1011	工芸概論	1	1.0	1・2	秋AB	木4	齋藤 敏寿	人類がモノを創造してきた歴史的背景からの洞察を加えながら、工芸(craft)の特性、意匠、機能、材料等の基礎的な成り立ちについて陶磁を中心に概説する。	実務経験教員 対面
YAH1012	工芸基礎演習(ガラス)	2	2.0	1・2	夏季休業中	随時	勝川 夏樹	ガラス素材を扱う基礎的な技法であるキルンキャストイング技法を用いて、作品制作を行う。	実務経験教員 対面 人数制限あり(10名程度)
YAH1022	工芸基礎演習(陶磁)	2	2.0	1・2	秋AB	火5, 6	齋藤 敏寿	土が陶に変化することから成り立つ造形の可能性を、素材の発見から熱による物質の変容を体感する演習を行う。	人数制限あり24名程度まで 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
YAJ1011	総合造形概論	1	1.0	1・2	春AB	火1	村上 史明, 小野 裕子, 東 弘一郎	総合造形の視点を元にした現代アート表現における、造形制作、平面表現、環境的造形、及びメディア的展開、インスタレーションアート、空間、時間、人間から成るパフォーマンスアートなどの多様な制作研究について概説する。	実務経験教員 対面
YAJ1022	立体加工基礎演習	2	2.0	1・2	春AB	木5, 6	小野 裕子	立体加工の諸技法の内「シリコンゴム・樹脂」をとり上げ、その素材の特質などを作品制作を通して理解しながら、造形感覚とスキルを養う。	人数制限あり(25名) 初日から参加必須。 実務経験教員 対面
YAK1011	構成概論	1	1.0	1・2	春AB	木4	山本 早里	構成の成立した背景と発展及び現代のアートやデザインとの関わりを造形の諸要素や秩序、表現性から捉え構成学を概説する。	実務経験教員 対面
YAK1012	構成基礎演習	2	1.0	1	春B	金3, 4	上浦 佑太	アクリル絵の具による平面構成やケント紙を使った立体構成などを通して、色・形の基本的なバランス感覚を養う。	実務経験教員 対面
YAL1011	ビジュアルデザイン概論	1	1.0	1・2	秋AB	火1	田中 佐代子	タイプフェイス、タイポグラフィ、レイアウト、配色、ブックデザイン、エディトリアルデザイン、著作権など、現代のグラフィックデザインに関する基本的な知識を、様々な事例を紹介しながら講述する。	芸術専門学群と総合学 域群の学生に限る。 実務経験教員 オンライン(オンデマ ンド型)
YAL1012	グラフィックツール基礎演習	2	1.0	1・2	春C	木5, 6	マクラウド ギャ ラリー ロデリック	Adobe Creative Suiteの使用方法を4つの制作課題を通じて学ぶ。	芸術専門学群の交換留 学生が受講可能。人数 制限あり。英語で授 業。 英語で授業。 実務経験教員 オンライン(オンデマ ンド型)
YAL1022	デジタル写真基礎演習	2	1.0	1 - 4	春A	火5, 6	マクラウド ギャ ラリー ロデリック	デジタルカメラ(手動コントロール付き)を使用して、ライティングなどの基本的な撮影テクニックを学びます。画像処理についても学びます。	デジタルカメラを所 有していること(購入 機材については初回の ガイダンスで説明す る)。 英語で授業。 実務経験教員 対面(オンライン併用 型)
YAN1011	情報・プロダクトデザイン概論	1	1.0	1・2	春C	火1, 2	小山 慎一, 伊藤 節, 李 昇姫, 内山 俊朗, 山田 博之, 包 索米亜	デザインの歴史、概念、適用範囲、経済社会との関係、について概説する。特に、情報デザインの観点から、コミュニケーションや道具やシステムの操作、また、製造物の設計や製造物を通じたデザイナーと社会の関わりについて、デザインの様々な事例を取り上げ、文化的側面と技術的側面から、その概念と今日的課題についても講述する。	実務経験教員 オンライン(オンデマ ンド型)
YAN1012	レンダリング基礎演習	2	1.0	1	春B	木5, 6	山田 博之	スケッチ、作図の基本テクニックを体得し、魅力的なプレゼンテーション表現についての演習を行う。	実務経験教員 対面
YAP1011	環境デザイン概論	1	1.0	1・2	春AB	金3	野中 勝利, 橋本 剛	人間を取り巻く生活空間を包括的に対象とする環境デザインについて、その成り立ち、対象、範囲、背景、設計、計画の方法などについて総合的に講述する。	実務経験教員 対面
YAP1012	プレゼンテーション基礎演習	2	1.0	1・2	春A	木5, 6	菅野 圭祐	デザインの意図を効果的に表現するための技法について学習する。屋内外空間を対象として住環境の観察力や理解力と表現力を養い、スケッチ・透視図・平面図・配置図・立面図・立体図などの作図技法を習得する。	実務経験教員 対面
YAQ1011	建築デザイン概論	1	1.0	1・2	秋AB	金3	花里 俊廣, 山田 協太	建築デザインに関する基礎的な理解を促すために、様々な話題を取り上げ、そこに込められた意味を探る。	対面
YAQ1012	建築製図基礎演習	2	1.0	1・2	秋C	火5, 6	加藤 研	名作住宅の平面図、断面図、立面図のトレース図面、模型を制作する。	芸術専門学群生に限 る。 実務経験教員 対面
YAX1011	芸術キャリア教育	1	1.0	2・3	春C 夏季休業 中	水1, 2 集中	内山 俊朗	本学におけるキャリア支援について理解するとともに、芸術におけるキャリア形成について学び、将来の自分像についてのキャリアデザインを考える。	2019年度入学以降の芸 術専門学群生に限る。 オンライン(同時双方 向型)
YAX1601	世界遺産学入門	1	1.0	2	春AB	火2	上北 恭史, 八木 春生, 黒田 乃生, 松井 敏也, 下田 一太, 伊藤 弘, 池 田 真利子, 飯田 義彦, 肥後 時尚, 三ツ井 聡美, 澤 田 聖人	ユネスコ総会における世界遺産条約の採択(1972年)から50年が経過し、世界遺産を取り巻く保護・保存は刻々と変化してきています。本講義は、導入として世界遺産条約のフレームワークや仕組みを自然遺産、文化遺産双方の視点から学習する総論と、文化遺産・自然遺産の登録サイト内外で実施する最新の学術調査・研究・理論を学ぶ各論から構成されています。履修生は、複数の講義回に関してレポート課題を提出することが求められます。	対面
YAX2011	アート&デザイン入門	1	1.0	1・2	春BC	月2	川島 史也, 寺門 臨太郎, 石崎 和 宏, 仏山 輝美, 齋 藤 敏寿, 野中 勝 利	造形表現および理論研究における各専門領域から、アートとデザインの世界について講述する。	専門導入科目(事前登 録対象) オンライン(オンデマ ンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YAX2021	芸術と文化	1	1.0	1・2	秋AB	月1	山本 浩之, 水野裕史, 武田 一文, 福岡 正志郎, 田島 直樹, 大原 央聡, 菅野 智明, 上浦 佑太, 宮原 克人, 小野 裕子	芸術における歴史・理論研究、創作活動を実践的に行う専門領域の視点から、文化としての役割について講述する。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
YAX2031	芸術と社会	1	1.0	1・2	秋AB	月2	直江 俊雄, 山田博之, 山田 協太, 加藤 研, 菅野 圭祐, 大友 邦子, 原忠信, 林 みちこ	芸術における社会的役割について、教育・デザインを通じての多様な活動と可能性について講述する。	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
YAX3132	英語基礎演習(芸術)A-1	2	1.0	2 - 4	春ABC	月3	サカイ ロドリゲス オスカル エデュアルド	Students will focus on developing their communication skills through the lens of the arts. Emphasis will be placed on describing artwork, discussing artistic concepts, and presenting ideas clearly and confidently.	英語で発表する能力を育成する。This course is in English. 英語で授業。 対面を基本とする。
YAX3142	英語基礎演習(芸術)A-2	2	1.0	2 - 4	秋ABC	月3	サカイ ロドリゲス オスカル エデュアルド	Students will focus on developing their communication skills through the lens of the arts. Emphasis will be placed on describing artwork, discussing artistic concepts, and presenting ideas clearly and confidently.	英語で発表する能力を育成する。This course is in English. 英語で授業。 対面を基本とする。
YAX3152	英語基礎演習(芸術)B-1	2	1.0	2 - 4	春ABC	水3	サカイ ロドリゲス オスカル エデュアルド	Students will focus on developing their communication skills through the lens of the arts. Emphasis will be placed on describing artwork, discussing artistic concepts, and presenting ideas clearly and confidently.	英語で発表する能力を育成する。This course is in English. 英語で授業。 対面を基本とする。
YAX3162	英語基礎演習(芸術)B-2	2	1.0	2 - 4	秋ABC	水3	サカイ ロドリゲス オスカル エデュアルド	Students will focus on developing their communication skills through the lens of the arts. Emphasis will be placed on describing artwork, discussing artistic concepts, and presenting ideas clearly and confidently.	英語で発表する能力を育成する。This course is in English. 英語で授業。 対面を基本とする。
YAX3172	英語基礎演習(芸術)C-1	2	1.0	2 - 4	春ABC	木6	サカイ ロドリゲス オスカル エデュアルド	Students will focus on developing their communication skills through the lens of the arts. Emphasis will be placed on describing artwork, discussing artistic concepts, and presenting ideas clearly and confidently.	英語で発表する能力を育成する。This course is in English. 英語で授業。 対面を基本とする。
YAX3182	英語基礎演習(芸術)C-2	2	1.0	2 - 4	秋ABC	木6	サカイ ロドリゲス オスカル エデュアルド	Students will focus on developing their communication skills through the lens of the arts. Emphasis will be placed on describing artwork, discussing artistic concepts, and presenting ideas clearly and confidently.	英語で発表する能力を育成する。This course is in English. 英語で授業。 対面を基本とする。
YAZ1211	美術史概説A-1	1	1.0	1				古代から初期キリスト教時代にいたる西洋美術史における様式の変遷と基礎的な概念を概説する。	西暦奇数年度開講。 対面
YAZ1221	美術史概説A-2	1	1.0	1	春AB	火2	寺門 臨太郎	中世から近世にかけての西洋美術史における様式の変遷と基礎的な概念を概説する。	西暦偶数年度開講。 対面
YAZ1311	美術史概説B-1	1	1.0	1				飛鳥時代から江戸時代にいたる日本美術史における様式の変遷と基礎的な概念を概説する。	西暦奇数年度開講。 対面
YAZ1321	美術史概説B-2	1	1.0	1	秋AB	火2	八木 春生	インドおよび中国の仏教美術史と飛鳥時代から奈良時代にいたる日本美術史における様式の変遷と基礎的な概念を概説する。	Courses begin in even-numbered years of the Western calendar year. Face to face 西暦偶数年度開講。 対面
YAZ1411	デザイン史概説A	1	1.0	1	春AB	火2	杉崎 広空	建築を軸としながら、情報、プロダクト、ビジュアルにかかわるデザインの歴史を概説する。	対面
YAZ1421	デザイン史概説B	1	1.0	1	秋AB	火2	山田 協太	建築を軸としながら、情報、プロダクト、ビジュアルにかかわるデザインの歴史を概説する。	対面

専門科目(美術史領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBA0231	美術史特講A-1	1	1.0	2・3				日本美術史上の具体的作例について多面的に講述する。	西暦奇数年度開講。 対面
YBA0241	美術史特講A-2	1	1.0	2・3				日本美術史上の具体的作例について多面的に講述する。	西暦奇数年度開講。 対面
YBA0251	美術史特講B-1	1	1.0	2・3	春AB	火4	黄 士誠, 林 みちこ	近・現代美術史に関する特定のテーマについての講述。	西暦偶数年度開講。
YBA0261	美術史特講B-2	1	1.0	2・3	秋AB	火4	林 みちこ	近・現代美術史に関する特定のテーマについての講述。	西暦偶数年度開講。 対面
YBA0331	美術史特講C-1	1	1.0	2・3				西洋近世・近代美術史に関する特定のテーマについての講述。	西暦奇数年度開講。 対面
YBA0341	美術史特講C-2	1	1.0	2・3				西洋近世・近代美術史に関する特定のテーマについての講述。	西暦奇数年度開講。 対面
YBA0351	美術史特講D-1	1	1.0	2・3	春AB	木4	武田 一文	西洋中世美術史に関する特定のテーマについての講述。	西暦偶数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBA0361	美術史特講D-2	1	1.0	2・3	秋AB	木4	武田 一文	西洋中世美術史に関する特定のテーマについての講述。	西暦偶数年度開講。 対面
YBA0381	アート・テキスト論	1	1.0	2・3	春AB	月5	林 みちこ	視覚芸術を言語化するという美術史学の基本をふまえた、アートと言葉に関する特定課題の考察。	2026年度をもって閉講。 西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBA0512	美術史演習A-1	2	2.0	2・3				近・現代美術史に関する文献の講読および関連テーマについての個別研究発表。	西暦奇数年度開講。 対面
YBA0522	美術史演習A-2	2	2.0	2・3				近・現代美術史に関する文献の講読および関連テーマについての個別研究発表。	西暦奇数年度開講。 対面
YBA0532	美術史演習B-1	2	2.0	2・3	春AB 春C	火5 火4, 5	水野 裕史	日本美術史に関する文献の講読および関連テーマについての個別研究発表。	西暦偶数年度開講。 対面
YBA0542	美術史演習B-2	2	2.0	2・3	秋AB 秋C	火5 火4, 5	水野 裕史	日本美術史に関する文献の講読および関連テーマについての個別研究発表。	西暦偶数年度開講。 対面
YBA0632	美術史演習C-1	2	2.0	2・3				西洋中世美術史に関する文献講読および関連テーマについての個別研究発表。	西暦奇数年度開講。 対面
YBA0642	美術史演習C-2	2	2.0	2・3				西洋中世美術史に関する文献講読および関連テーマについての個別研究発表。	西暦奇数年度開講。 対面
YBA0652	美術史演習D-1	2	2.0	2・3	春AB 春C	木5 木4, 5	寺門 臨太郎	西洋近世・近代美術史に関する文献の講読および関連テーマについての個別研究発表。	西暦偶数年度開講。 対面
YBA0662	美術史演習D-2	2	2.0	2・3	秋AB 秋C	木5 木4, 5	寺門 臨太郎	西洋近世・近代美術史に関する文献の講読および関連テーマについての個別研究発表。	西暦偶数年度開講。 対面
YBA0734	美術史文献学-1	4	2.0	2・3	秋AB 秋C	月5 月5, 6	武田 一文	美術史研究を進めるうえで求められる外国語による文献の実践的な扱い方に関する講述と演習。	西暦偶数年度開講。 対面 2026年度をもって閉講。
YBA0932	学外演習I(美術史)	2	2.0	2	通年	随時	寺門 臨太郎, 林みちこ, 水野 裕史, 武田 一文	美術作品や歴史的建築物などを実地において観察し、美術史の調査・研究の基本的な方法を演習する。	対面
YBA0942	学外演習II(美術史)	2	2.0	3	通年	随時	寺門 臨太郎, 林みちこ, 水野 裕史, 武田 一文	美術作品や歴史的建築物などを実地において観察し、美術史の調査・研究の基本的な方法を演習する。	対面
YBA9017	美術史領域研究I	7	1.0	2	通年	随時	寺門 臨太郎, 林みちこ, 水野 裕史, 武田 一文	美術史領域の論文作成を視野に入れた年次ごとの学習計画についてのガイダンスと演習指導。美術史領域特別演習Iの「卒業研究計画報告会」、美術史領域特別演習IIの「第2回卒業論文中間報告会」等への聴講参加。	対面
YBA9027	美術史領域研究II	7	1.0	3	春ABC	随時	寺門 臨太郎, 林みちこ, 水野 裕史, 武田 一文	美術史領域の論文作成を視野に入れた年次ごとの学習計画についてのガイダンスと演習指導。美術史領域特別演習IIの「第1回卒業論文中間報告会」等への聴講参加。	対面
YBA9037	美術史領域特別演習I	7	1.0	3	秋ABC	随時	寺門 臨太郎, 林みちこ, 水野 裕史, 武田 一文	美術史に関する各自が設定したテーマによる個別または、集団による研究指導。卒業研究計画報告会(11月)における発表。 ・美術史領域を希望する学生 ・いずれかの領域研究I, II(美術史領域のもの)が望ましい)を履修済みで、専門科目(YBA)を10単位程度取得していることが望ましい。事前に担当教員に相談する事。 対面 ・TOEICR IPテストの受験必須 ・自己達成度評価をおこなうこと。	・美術史領域の学生に限る 対面
YBA9047	美術史領域特別演習II	7	1.0	4	春ABC	随時	寺門 臨太郎, 林みちこ, 水野 裕史, 武田 一文	美術史に関する各自が設定したテーマによる個別または、集団による論文指導。第1回卒業論文中間報告会(6月)における発表。	美術史領域の学生に限る 対面
YBA9057	美術史領域特別演習III	7	1.0	4	秋ABC	随時	寺門 臨太郎, 林みちこ, 水野 裕史, 武田 一文	美術史に関する各自が設定したテーマによる個別または集団による論文指導。卒業論文中間報告会(11月)における発表。	美術史領域の学生に限る。 対面 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBA9918	卒業研究A(美術史領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	寺門 臨太郎, 林みちこ, 水野 裕史, 武田 一文	美術史に関する卒業論文。	美術史領域の学生に限る。卒業に必要な単位数の未修得点が30単位以下であること。 対面
YBA9928	卒業研究B(美術史領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	寺門 臨太郎, 林みちこ, 水野 裕史, 武田 一文	美術史に関する卒業論文。	美術史領域の学生に限る。卒業に必要な単位数の未修得点が30単位以下であること。 対面

専門科目(芸術支援領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBB0311	芸術表現と支援ツール-1	1	1.0	2・3	春AB	木3	石崎 和宏	美術館や学校において芸術表現を支援するツールの広がり概観し、それらの目的や観点、方法を考察して試作支援ツールを開発する。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBB0321	芸術表現と支援ツール-2	1	1.0	2・3	秋AB	木3	石崎 和宏	美術館や学校において芸術表現を支援するツールの広がり概観し、それらの目的や観点、方法を考察して試作支援ツールを開発する。	西暦偶数年度開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBB0411	芸術学習のサポートとケア-1	1	1.0	2・3				学校教育・美術館教育・生涯学習などの様々な環境における芸術学習を支援するプログラムを立案・実行するための理論と方法を、主に講義を通して学ぶ。	西暦奇数年度開講。 対面
YBB0421	芸術学習のサポートとケア-2	1	1.0	2・3				学校教育・美術館教育・生涯学習などの様々な環境における芸術学習を支援するプログラムを立案・実行するための理論と方法を、主に講義と演習を通して学ぶ。	西暦奇数年度開講。 対面
YBB0511	芸術とウェルビーイング-1	1	1.0	2・3	春AB	木1	吉田 奈穂子	芸術活動を通じたウェルビーイングの実現に関する講義を主に行う。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBB0521	芸術とウェルビーイング-2	1	1.0	2・3	秋AB	木1	吉田 奈穂子	芸術活動を通じたウェルビーイングの実現に関する講義を主に行う。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBB0711	芸術鑑賞と支援ツール-1	1	1.0	2・3				美術館や学校において芸術鑑賞を支援するツールの広がりを概観し、それらの目的や観点、方法を考察して試作支援ツールを開発する。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBB0721	芸術鑑賞と支援ツール-2	1	1.0	2・3				美術館や学校において芸術鑑賞を支援するツールの広がりを概観し、それらの目的や観点、方法を考察して試作支援ツールを開発する。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBB0811	クリエイティブ・アート・ライティング-1	1	1.0	2・3	春AB	水1	直江 俊雄	芸術体験を言葉で伝えあう活動について学び、制作、研究、教育等における芸術支援の基礎となる能力を養う。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBB0821	クリエイティブ・アート・ライティング-2	1	1.0	2・3	秋AB	水1	直江 俊雄	芸術体験を言葉で伝えあう活動について学び、制作、研究、教育等における芸術支援の基礎となる能力を養う。	西暦偶数年度開講。 対面
YBB0832	芸術支援学演習A-I	2	1.0	1・2	秋ABC	随時	直江 俊雄, 吉田 奈穂子	芸術支援に関する演習を行う。	対面(オンライン併用型)
YBB0842	芸術支援学演習A-II	2	1.0	2・3	秋ABC	随時	直江 俊雄, 吉田 奈穂子	芸術支援に関する演習を行う。	対面(オンライン併用型)
YBB0852	芸術支援学演習B-I	2	1.0	1・2	秋ABC	随時	直江 俊雄, 吉田 奈穂子	芸術支援に関する演習を行う。	対面(オンライン併用型)
YBB0862	芸術支援学演習B-II	2	1.0	2・3	秋ABC	随時	直江 俊雄, 吉田 奈穂子	芸術支援に関する演習を行う。	対面(オンライン併用型)
YBB0872	芸術支援学演習C-I	2	1.0	1・2	秋ABC	随時	直江 俊雄, 吉田 奈穂子	芸術支援に関する演習を行う。	対面
YBB0882	芸術支援学演習C-II	2	1.0	2・3	秋ABC	随時	直江 俊雄, 吉田 奈穂子	芸術支援に関する演習を行う。	対面
YBB0912	学外演習A-I(芸術支援学)	2	1.0	1・2	通年	随時	石崎 和宏, 直江 俊雄, 吉田 奈穂子	現代社会における芸術支援の事例を実地に調査する。	対面
YBB0922	学外演習A-II(芸術支援学)	2	1.0	2・3	通年	随時	石崎 和宏, 直江 俊雄, 吉田 奈穂子	現代社会における芸術支援の事例を実地に調査する。	対面
YBB0932	学外演習A-III(芸術支援学)	2	1.0	3・4	通年	随時	石崎 和宏, 直江 俊雄, 吉田 奈穂子	現代社会における芸術支援の事例を実地に調査する。	対面
YBB0942	学外演習B-I(芸術支援学)	2	1.0	1・2	通年	随時	石崎 和宏, 直江 俊雄, 吉田 奈穂子	芸術支援に関わる実践と研究の現場を調査し、テーマを決めて考察を行う。	対面(オンライン併用型)
YBB0952	学外演習B-II(芸術支援学)	2	1.0	2・3	通年	随時	石崎 和宏, 直江 俊雄, 吉田 奈穂子	芸術支援に関わる実践と研究の現場を調査し、テーマを決めて考察を行う。	対面(オンライン併用型)
YBB0962	学外演習B-III(芸術支援学)	2	1.0	3・4	通年	随時	石崎 和宏, 直江 俊雄, 吉田 奈穂子	芸術支援に関わる実践と研究の現場を調査し、テーマを決めて考察を行う。	対面(オンライン併用型)
YBB1112	芸術支援学演習A-III	2	1.0	3・4	秋ABC	随時	直江 俊雄, 吉田 奈穂子	芸術支援に関する演習を行う。	対面(オンライン併用型)
YBB1122	芸術支援学演習B-III	2	1.0	3・4	秋ABC	随時	直江 俊雄, 吉田 奈穂子	芸術支援に関する演習を行う。	対面(オンライン併用型)
YBB1132	芸術支援学演習C-III	2	1.0	3・4	秋ABC	随時	直江 俊雄, 吉田 奈穂子	芸術支援に関する演習を行う。	対面
YBB1142	美術館教育演習I	2	1.0	1・2	秋ABC	随時	直江 俊雄, 吉田 奈穂子	美術館教育に関する演習を行う。	対面(オンライン併用型)
YBB1152	美術館教育演習II	2	1.0	2・3	秋ABC	随時	直江 俊雄, 吉田 奈穂子	美術館教育に関する演習を行う。	対面(オンライン併用型)
YBB1162	美術館教育演習III	2	1.0	3・4	秋ABC	随時	直江 俊雄, 吉田 奈穂子	美術館教育に関する演習を行う。	対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBB9017	芸術支援領域研究Ⅰ	7	1.0	2	通年	随時	石崎 和宏, 直江俊雄, 吉田 奈穂子	ガイダンス、卒業論文中間発表会等への参加などを通して、芸術支援領域における研究に向けての指導を行う。	対面
YBB9027	芸術支援領域研究Ⅱ	7	1.0	3	春ABC	随時	石崎 和宏, 直江俊雄, 吉田 奈穂子	ガイダンス、卒業論文中間発表会等への参加などを通して、芸術支援領域における研究に向けての指導を行う。	対面
YBB9037	芸術支援領域特別演習Ⅰ	7	1.0	3	秋ABC	随時	石崎 和宏, 直江俊雄, 吉田 奈穂子	芸術支援領域における卒業研究に向けた研究計画の指導を行う。	・芸術支援領域を希望する学生 ・いずれかの領域研究Ⅰ,Ⅱ(芸術支援領域のものが望ましい)を履修済みで、専門科目(YBB)を10単位程度取得していることが望ましい。事前に担当教員に相談する事。 実務経験教員 対面 ・TOEICR IPテストの受験必須 ・自己達成度評価をおこなうこと。
YBB9047	芸術支援領域特別演習Ⅱ	7	1.0	4	春ABC	随時	石崎 和宏, 直江俊雄, 吉田 奈穂子	芸術支援領域における卒業研究の指導を行う。	芸術支援領域の学生に限る 対面
YBB9057	芸術支援領域特別演習Ⅲ	7	1.0	4	秋ABC	随時	石崎 和宏, 直江俊雄, 吉田 奈穂子	芸術支援領域における卒業研究の指導を行う。	芸術支援領域の学生に限る。 対面 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBB9918	卒業研究A(芸術支援領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	石崎 和宏, 直江俊雄, 吉田 奈穂子	芸術支援に関わる卒業論文の執筆。	卒業に必要な単位数の未修得点が30単位以下であること。 対面
YBB9928	卒業研究B(芸術支援領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	石崎 和宏, 直江俊雄, 吉田 奈穂子	芸術支援に関わる卒業論文の執筆。	卒業に必要な単位数の未修得点が30単位以下であること。 対面

専門科目(洋画領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBC0301	洋画構想論	1	1.0	2・3	秋AB	金1	福満 正志郎	洋画の作品制作における構想について、総論及び各論を解説する。制作の基幹となる構想の意味を考え、その契機、模態、発想法における柔軟で幅広い構想力について具体的作例にふれながら解説する。洋画コース必修。3年次に、油絵実習Ⅰ、洋画技法演習と平行履修することが望ましい。	対面
YBC0402	油絵基礎技法演習	2	2.0	2	春AB	火2,3	福満 正志郎	各種描画用支持体の作製をとおして、材料・技法に関する基本的知識・技能を養う。	実務経験教員 対面
YBC0533	デッサン実習Ⅰ-1	3	1.0	1	春AB	金4,5	仏山 輝美, 山本浩之	石膏像をモチーフに、対象を明暗によって表現する素描に取り組む。物の見方、形態、構造、調子、動勢、空間と量感、質感などの基本的な造形要素を把握し基礎的描画力を養う。存在そのものの感動的な美を感じ、意欲的に制作する態度を培う。	芸術専門学群の学生(主に洋画、版画、日本画、彫塑)を受講対象に想定した専門科目である。例年受講者が多く適切な学習スペースの確保に苦慮していることもあり、他領域および他学類・学群の受講希望者については受講を制限している。 対面
YBC0543	デッサン実習Ⅰ-2	3	1.0	1	秋AB	金4,5	仏山 輝美, 山本浩之	人体をモチーフに、対象を明暗によって表現する素描に取り組む。物の見方、形態、構造、調子、動勢、空間と量感、質感などの基本的な造形要素を把握し基礎的描画力を養う。存在そのものの感動的な美を感じ、意欲的に制作する態度を培う。	「デッサン実習Ⅰ-1」を履修済みのこと。 対面
YBC0553	油絵基礎実習	3	1.0	2	秋AB	火2,3	福満 正志郎	裸婦モデルの写生を通して、油絵の基礎的な表現技術の修得と、用具・材料の取扱いに対して理解を深めることを目標とする。	「油絵基礎技法演習」を履修済のこと 実務経験教員 対面
YBC0612	洋画技法演習Ⅰ	2	2.0	3	春AB	金2,3	星 美加	種々の絵画技法を通じて、西洋画の技法の原理について深く理解することを目標とする。	「油絵基礎技法演習」、「油絵基礎実習」、「洋画技法論」もしくは「絵画技法論」を履修済であること。「油彩画実習」と並行履修すること。 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBC0613	デッサン実習II-A-1	3	1.0	2	春AB	火4,5	福満 正志郎, 星 美加	木炭又は鉛筆による石膏像及び人体の写生を主とする素描訓練を通して、観察力と造形感覚の向上をはかり、絵画表現の基礎技術の習得を目標とする。	対面
YBC0622	洋画技法演習2	2	2.0	3	秋AB	金2,3 随時	仏山 輝美	洋画技法演習1を踏まえ、西洋画の技法の原理について深く理解することを目標とする。フレスコ画技法を学ぶ。	「油絵基礎技法演習」、「油絵基礎実習」、「洋画技法論」もしくは「絵画技法論」、「洋画技法演習1」を履修済であること。「油彩画実習」と並行履修すること。実務経験教員対面
YBC0623	デッサン実習II-B-1	3	1.0	2	春AB	金5,6	星 美加, 福満 正志郎	木炭または鉛筆による石膏像及び人体の素描写生を通して、造形の基本となる形態、明暗、量、質、空間についての観察力と造形感覚を養い、絵画表現の基礎技術を習得させる。原則として2年次履修。課題毎に作品提出し、評価と講評を受けること。	課題毎に作品提出し、評価と講評を受けること。対面
YBC0683	デッサン実習II-A-2	3	1.0	2	秋AB	火4,5	福満 正志郎	木炭又は鉛筆による石膏像及び人体の写生を主とする素描訓練を通して、観察力と造形感覚の向上をはかり、絵画表現の基礎技術の習得を目標とする。	デッサン実習II-A-1を履修済みのこと。対面
YBC0703	デッサン実習II-B-2	3	1.0	2	秋AB	金5,6		木炭、鉛筆、その他描画材による静物及び人体の素描写生を通して、造形の基本となる形態、明暗、量、質、空間についての観察力と造形感覚を養い、絵画表現の基礎技術を習得させる。	デッサン実習II-B-1を履修済みのこと。実務経験教員対面
YBC0913	洋画野外風景実習II	3	1.0	3	通年	随時	福満 正志郎, 仏山 輝美, 星 美加, 湯澤 美麻	学外実習として、約1週間、特定の写生地に宿泊して、野外風景実習の1の成果をさらに深めるための実地指導を行う。	洋画領域対象実務経験教員対面
YBC0923	洋画野外風景実習III	3	1.0	4	通年	随時	福満 正志郎, 仏山 輝美, 星 美加, 湯澤 美麻	学外実習として、約1週間、特定の写生地に宿泊して、野外風景表現の実地指導を行う。	洋画領域対象実務経験教員対面
YBC1013	油絵実習II-A-1	3	1.0	4	春AB	月4,5	星 美加	人体モデル等による実習を通して、それぞれの感性を生かしながら、形態の追求や専門的技術の習熟を図り、自らの表現の方向を追求する。	実務経験教員対面
YBC1023	油絵実習II-A-2	3	1.0	4	春C秋A	月4,5	星 美加	人体モデル等による実習を通して、それぞれの感性を生かしながら、形態の追求や専門的技術の習熟を図り、自らの表現の方向を追求する。また卒業研究に基づく制作を行う。	「油絵実習II-A-1」を履修済みであること。実務経験教員対面
YBC1033	油絵実習II-B-1	3	1.0	4	春AB	火2,3	湯澤 美麻	人体モデル等による実習を通して、調子・空間・動勢等の画面に於ける働きを理解し制作する表現力を養う。自己の表現に適する素材や技法を模索し、独自で普遍性のある表現に達する糸口を見出す。	実務経験教員対面
YBC1043	油絵実習II-B-2	3	1.0	4	春C秋A	火2,3	湯澤 美麻	人体モデル等による実習を通して、調子・空間・動勢等の画面に於ける働きを理解し制作する表現力を養う。自己の表現に適する素材や技法を模索し、独自で普遍性のある表現に達する糸口を見出す。また卒業研究に基づく制作を行う。	「油絵実習II-B-1」を履修済みであること。実務経験教員対面
YBC1053	油絵実習II-C-1	3	1.0	4	春AB	木2,3	仏山 輝美	人体の写生を通じて、主題であるモデルとそれを取り巻く情景をいかに絵画に表すかについて学ぶ。特に形態と色彩の連関に着目して画面全体の調和を構築する態度と技術を培う。	実務経験教員対面
YBC1063	油絵実習II-C-2	3	1.0	4	春C秋A	木2,3	仏山 輝美	人体の写生を通じて、主題であるモデルとそれを取り巻く情景をいかに絵画に表すかについて学ぶ。特に形態と色彩の連関に着目して画面全体の調和を構築する態度と技術を培う。また卒業研究に基づく制作を行う。	「油絵実習II-C-1」を履修済みであること。実務経験教員対面
YBC1073	油絵実習II-D-1	3	1.0	4	春AB	金2,3	福満 正志郎	人体モデルや各種のモチーフを基に油彩画等による制作実習を通して自らの表現の方向を見いだし、想像力を高め、美的感覚と技法を洗練し、絵画的造形要素を表現の意図に沿って適切に用いる個性的な作品制作の能力を養う。	実務経験教員対面
YBC1083	油絵実習II-D-2	3	1.0	4	春C秋A	金2,3	福満 正志郎	人体モデルや各種のモチーフを基に油彩画等による制作実習を通して自らの表現の方向を見いだし、想像力を高め、美的感覚と技法を洗練し、絵画的造形要素を表現の意図に沿って適切に用いる個性的な作品制作の能力を養う。また卒業研究に基づく制作を行う。	「油絵実習II-D-1」を履修済みであること。実務経験教員対面
YBC1313	油彩画実習A-1	3	1.0	3	春AB	月2,3	星 美加	人体モデルによる実習を通して、生命感到満ちた形態の追求やそれに伴う専門的技術の習得を図る。	実務経験教員対面 2023年度までのYBC1113油彩画実習I-A-1に相当、旧科目履修者履修不可。
YBC1322	油彩画演習A-1	2	1.0	3	春C	月2,3	星 美加	油彩画の技法に関する演習をおこなう。	油彩画実習 A-1を履修済のこと。実務経験教員対面 2023年度までのYBC1123油彩画演習I-A-1に相当、旧科目履修者履修不可。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
YBC1333	油彩画実習 A-2	3	1.0	3	秋AB	月2,3		人体モデルによる実習を通して、生命感に満ちた形態の追求やそれに伴う専門的技術の習得を図る。	実務経験教員 対面 2023年度までの YBC1133油彩画実習1-A-2に相当。旧科目履修者履修不可。
YBC1342	油彩画演習 A-2	2	1.0	3	秋C	月2,3		油彩画の技法に関する演習をおこなう。	油彩画実習 A-2を履修済のこと 実務経験教員 対面 2023年度までの YBC1143油彩画演習1-A-2に相当。旧科目履修者履修不可。
YBC1353	油彩画実習 B-1	3	1.0	3	春AB	火4,5	湯澤 美麻	人体モデルによる実習を通して、生命感に満ちた形態の追求やそれに伴う専門的技術の習得を図る。原則として3年次履修。課題作品を提出し講評を受けること。	実務経験教員 対面 2023年度までの YBC1153油彩画実習1-B-1に相当。旧科目履修者履修不可。
YBC1362	油彩画演習 B-1	2	1.0	3	春C	火4,5	湯澤 美麻	油彩画の技法に関する演習をおこなう。	油彩画実習1-B-1を履修済のこと 実務経験教員 対面 2023年度までの YBC1163油彩画演習1-B-1に相当。旧科目履修者履修不可。
YBC1373	油彩画実習 B-2	3	1.0	3	秋AB	火4,5	湯澤 美麻	人体モデルによる実習を通して、生命感に満ちた形態の追求やそれに伴う専門的技術の習得を図る。原則として3年次履修。課題作品を提出し講評を受けること。	実務経験教員 対面 2023年度までの YBC1173油彩画実習1-B-2に相当。旧科目履修者履修不可。
YBC1382	油彩画演習 B-2	2	1.0	3	秋C	火4,5	湯澤 美麻	油彩画の技法に関する演習をおこなう。	油彩画実習 B-2を履修済のこと 実務経験教員 対面 2023年度ま
YBC1393	油彩画実習 C-1	3	1.0	3	春AB	木4,5	仏山 輝美	主に人体モデルを描く油彩画制作実習を通して、絵画における色彩の効果やその調和に着目した表現の手立てを修練する。また、絵具、溶き油などの使用に習熟し、油絵具の特性を活かして人体の肉感や肌の質感を表す描画力を養う。	実務経験教員 対面 2023年度までの YBC1193油彩画実習1-C-1に相当。旧科目履修者履修不可。
YBC1402	油彩画演習 C-1	2	1.0	3	春C	木4,5	仏山 輝美	油彩画の技法に関する演習をおこなう。	油彩画実習 C-1を履修済のこと 実務経験教員 対面 2023年度までの YBC1213油彩画演習1-C-1に相当。旧科目履修者履修不可。
YBC1413	油彩画実習 C-2	3	1.0	3	秋AB	木4,5	仏山 輝美	主に人体モデルを描く油彩画制作実習を通して、絵画における色彩の効果やその調和に着目した表現の手立てを修練する。また、絵具、溶き油などの使用に習熟し、油絵具の特性を活かして人体の肉感や肌の質感を表す描画力を養う。	実務経験教員 対面 2023年度までの YBC1223油彩画実習1-C-2に相当。旧科目履修者履修不可。
YBC1422	油彩画演習 C-2	2	1.0	3	秋C	木4,5	仏山 輝美	油彩画の技法に関する演習をおこなう。	油彩画実習 C-2を履修済のこと 実務経験教員 対面 2023年度までの YBC1233油彩画演習1-C-2に相当。旧科目履修者履修不可。
YBC1433	油彩画実習 D-1	3	1.0	3	春AB	金4,5	福満 正志郎	人体モデルによる実習を通して、色彩の効果や、その調和について修練し、絵具、とき油などの使用に習熟する。また、油絵具の特性を生かして人体の肉感や肌の質感を表す描画力を養う。	実務経験教員 対面 2023年度までの YBC1243油彩画実習1-D-1に相当。旧科目履修者履修不可。
YBC1442	油彩画演習 D-1	2	1.0	3	春C	金4,5	福満 正志郎	油彩画の技法に関する演習をおこなう。	油彩画実習 D-1を履修済のこと 実務経験教員 対面 2023年度までの YBC1253油彩画演習1-D-1に相当。旧科目履修者履修不可。
YBC1453	油彩画実習 D-2	3	1.0	3	秋AB	金4,5	福満 正志郎	人体モデルによる実習を通して、色彩の効果や、その調和について修練し、絵具、とき油などの使用に習熟する。また、油絵具の特性を生かして人体の肉感や肌の質感を表す描画力を養う。	対面 2023年度までの YBC1263油彩画実習1-D-2に相当。旧科目履修者履修不可。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBC1462	油彩画演習 D-2	2	1.0	3	秋C	金4,5	福満 正志郎	油彩画の技法に関する演習をおこなう。	油彩画実習 D-2を履修済のこと 対面 2023年度までのYBC1273油彩画演習I-D-2Iに相当。旧科目履修者履修不可。
YBC9017	洋画領域研究I	7	1.0	2	通年	随時	仏山 輝美, 福満 正志郎, 星 美加, 湯澤 美麻	ガイダンス・面談、授業及び実習室見学。展覧会(MC展、DC展)鑑賞	実務経験教員対面
YBC9027	洋画領域研究II	7	1.0	3	春ABC	随時	仏山 輝美, 福満 正志郎, 星 美加, 湯澤 美麻	洋画の技法研究・自主制作を通して、今後の研究の方向性を見出し、発表・プレゼンをおこなう。	実務経験教員対面
YBC9037	洋画領域特別演習I	7	1.0	3	秋ABC	随時	仏山 輝美, 福満 正志郎, 星 美加, 湯澤 美麻	学内での展覧会にて作品を発表する。運営・展示作業を経験し卒業への実践力を養う。油彩画演習I・IIの作品を展示する。	・洋画領域学生を希望する学生。 ・いずれかの領域研究I, II(洋画領域のものが望ましい)を履修済で、専門科目(YBC、YBD、YBE、YBF)を10単位程度取得していることが望ましい。事前に担当教員に相談する事。 実務経験教員対面 ・TOEIC(R) IPテストの受験必須 ・自己達成度評価をおこなうこと。
YBC9047	洋画領域特別演習II	7	1.0	4	春ABC	随時	仏山 輝美, 福満 正志郎, 星 美加, 湯澤 美麻	洋画領域における卒業研究の指導を行う。	洋画領域の学生に限る 実務経験教員対面
YBC9057	洋画領域特別演習III	7	1.0	4	秋ABC	随時	仏山 輝美, 福満 正志郎, 星 美加, 湯澤 美麻	洋画領域における卒業研究の指導を行う。	洋画領域の学生に限る。 実務経験教員対面 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBC9918	卒業研究A(洋画領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	仏山 輝美, 福満 正志郎, 星 美加, 湯澤 美麻	専門に関する研究を行い、制作と論文にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員対面
YBC9928	卒業研究B(洋画領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	仏山 輝美, 福満 正志郎, 星 美加, 湯澤 美麻	専門に関する研究を行い、制作と論文にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員対面

専門科目(版画領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBD0913	版画基礎実習I	3	1.0	2	春AB	木2,3	田島 直樹, 湯澤 美麻	版画表現の基礎的な技法を修得する。油性単色刷り木版画の彫りと摺りについて実習を行う。	原則として「版画概論」を履修していること。 実務経験教員対面 短期留学生申請条件: 人数制限あり
YBD0923	版画基礎実習II	3	1.0	2	秋AB	木2,3	田島 直樹	版画表現の基礎的な技法を修得する。銅版画のエッチングとアクアチントについて実習を行う。	原則として「版画概論」「版画基礎実習I」を履修していること。 実務経験教員対面 短期留学生申請条件: 人数制限あり
YBD1202	リトグラフ演習	2	2.0	2・3	秋C	火・木2,3	田島 直樹	さまざまな描画材を用いた多色刷りリトグラフの実習を行う。制作プロセス、原理の理解が重要となる。	版画領域の学生に限る。「版画基礎実習I・II」を履修していること。 実務経験教員対面
YBD1312	木版画演習I	2	2.0	3	春AB	水2,3	田島 直樹	水性絵具を用いた木版画の演習を行う。墨によるの摺り、回転摺りによる色の重なりに関する実験を行う。	版画領域の学生に限る。「版画基礎実習I・II」を履修していること。 実務経験教員対面
YBD1322	木版画演習II	2	2.0	3	秋AB	水2,3	田島 直樹	複数の版のかけ合わせによる版画制作。木版画の演習を行う。色の摺り重ねによって絵を作るため、そのメカニズムの理解が大切になる。	版画領域の学生に限る。「版画基礎実習I・II」を履修していること。 実務経験教員対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBD1332	銅版画演習Ⅰ	2	2.0	3	春AB	火2,3	田島 直樹	銅版画の技法は他の版画に比較して、多岐にわたり奥深い。さまざまな銅版画の技法を学ぶことにより、技術の修得のみならず、技法によってイメージを触発され、新しい表現へと向かわしめることを期す。春学期はラインエッチングによる自画像及び、様々な技法の実験制作を行う。	版画領域の学生に限る。「版画基礎実習Ⅰ・Ⅱ」を履修していること。 実務経験教員 対面
YBD1342	銅版画演習Ⅱ	2	2.0	3	秋AB	火2,3	田島 直樹	春学期に行った技法実験の結果をもとに、秋学期は各自技法を選び、テーマを設定して自主制作するが、どちらかといえば技法に触発された表現を期待したい。	版画領域の学生に限る。「版画基礎実習Ⅰ・Ⅱ」を履修していること。 実務経験教員 対面
YBD1352	スクリーンプリント演習	2	2.0	2・3	春C	火・木2,3	田島 直樹	スクリーンプリントの原稿制作、感光による製版、スキージによる刷りを通して作品制作を行う。制作プロセス、原理の理解が重要となる。	版画領域の学生に限る。「版画基礎実習Ⅰ」を履修していること。 実務経験教員 対面
YBD1512	版画演習A-1	2	2.0	3・4	春AB	木4,5	田島 直樹	銅版画の技法中、時間と忍耐を要するメゾチント技法を演習する。	版画領域の学生に限る。 西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBD1522	版画演習A-2	2	2.0	3・4	秋AB	木4,5	田島 直樹、湯澤美麻	版画の技法中、ドライポイントとコラグラフ、モノタイプ等を演習する。	版画領域の学生に限る。 西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBD1532	版画演習B-1	2	2.0	3・4				履修者の作品を収めた版画集を作成する。版画集としての形態やフォーマットに関するプレゼンテーション、図の作成や装丁の作業等を共同作業で行う。	版画領域の学生に限る。 西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBD1542	版画演習B-2	2	2.0	3・4				前学期に決定したフォーマットに従って、各履修者が自ら版種を選択し、20部前後の摺刷を行ったものをまとめて版画集を作る。	版画領域の学生に限る。 西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBD1552	版画特別演習A	2	1.0	3・4	春C	木4,5	田島 直樹	各自、自分に合った版画技法を選び、テーマを設定する。スケジュール表を作成し、計画的に作品を制作し提出する。	版画領域の学生に限る。 西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBD1562	版画特別演習B	2	1.0	3・4				各自、自分に合った版画技法を選び、テーマを設定する。スケジュール表を作成し、計画的に作品を制作し提出する。	版画領域の学生に限る。 西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBD1572	版画技法特別演習	2	2.0	2 - 4	通年	随時	田島 直樹	版画特有の技法とその表現効果に関して、より専門的に学び、応用力を身につける。	版画領域の学生に限る。 西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBD1582	版画特別演習C	2	1.0	2・3	秋C	木4,5	田島 直樹	各自、自分に合った版画技法を選び、テーマを設定する。学外での展示を想定して計画的に作品を制作する。	版画領域の学生に限る。 西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBD1592	版画特別演習D	2	1.0	2・3				各自、自分に合った版画技法を選び、テーマを設定する。学外での展示を想定して計画的に作品を制作する。	版画領域の学生に限る。 西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBD1712	学外演習Ⅰ(版画)	2	1.0	2・3	通年	随時	田島 直樹	版画制作に必要な不可欠なプロセス・素材について、学外の実術館・博物館や紙造り場等でのワークショップに参加し、実体験を通して学習する。また、学外において展覧会を開催し、作品の成果発表を行う。	2024年度までの学外演習(版画)に相当。版画領域の学生に限る。 実務経験教員 対面
YBD1722	学外演習Ⅱ(版画)	2	1.0	3・4	通年	随時	田島 直樹	版画制作に必要な不可欠なプロセス・素材について、学外の実術館・博物館や紙造り場等でのワークショップに参加し、実体験を通して学習する。また、学外において展覧会を開催し、作品の成果発表を行う。	版画領域の学生に限る。 実務経験教員 対面
YBD9017	版画領域研究Ⅰ	7	1.0	2	通年	随時	田島 直樹	版画の基本的な版種や技法の原理、版種によって異なる表現効果について演習を通して学ぶ。	実務経験教員 対面
YBD9027	版画領域研究Ⅱ	7	1.0	3	春ABC	随時	田島 直樹	版画の基本的な版種や技法の原理、版種によって異なる表現効果について演習を通して学ぶ。	実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBD9037	版画領域特別演習I	7	1.0	3	秋ABC	随時	田島 直樹	版画の基本的な版種や技法の原理、版種によって異なる表現効果について演習を通して学ぶ。	・版画領域学生を希望する学生。 ・いずれかの領域研究I, II (版画領域のものが望ましい)を履修済で、専門科目(YBD、YBC、YBE、YBK、YBL)を10単位程度取得していることが望ましい。 事前に担当教員に相談する事。 実務経験教員 対面 ・TOEICR IPテストの受験必須 ・自己達成度評価をおこなうこと。
YBD9047	版画領域特別演習II	7	1.0	4	春ABC	随時	田島 直樹	版画領域における卒業研究の指導を行う。	版画領域の学生に限る 実務経験教員 対面
YBD9057	版画領域特別演習III	7	1.0	4	秋ABC	随時	田島 直樹	版画領域における卒業研究の指導を行う。	版画領域の学生に限る 実務経験教員 対面 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBD9918	卒業研究A(版画領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	田島 直樹	専門に関する研究を行い、制作と論文にまとめる。	版画領域の学生に限る。卒業に必要な単位数の未修得点が30単位以下であること。 実務経験教員 対面
YBD9928	卒業研究B(版画領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	田島 直樹	専門に関する研究を行い、制作と論文にまとめる。	版画領域の学生に限る。卒業に必要な単位数の未修得点が30単位以下であること。 実務経験教員 対面

専門科目(日本画領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBE0302	日本画鑑賞研究	2	1.0	3	通年	随時	程塚 敏明, 山本 浩之, 諏訪 智美	古典から現代までの日本画の鑑賞を通して美術史的な背景を調査し、作品を観察、文章化することで、日本画表現の理解を深める。	日本画領域の学生に限る。 実務経験教員 対面 指定した展覧会等を鑑賞し、作品についてレポートを提出する。
YBE0322	日本画素描演習	2	1.0	2・3	通年	随時	程塚 敏明, 山本 浩之, 諏訪 智美	鉛筆、その他の描画材を用いた素描を通して、制作の基礎となる造形力、観察力を養い、日本画表現への展開を検討する。	日本画領域の学生に限る。 実務経験教員 対面 指定した展覧会等を鑑賞し、作品についてレポートを提出する。
YBE0402	日本画技法演習	2	4.0	3	春AB秋AB	金2, 3	山本 浩之, 諏訪 智美	古典模写を通じて日本画で使用する絵具をはじめとした各素材と技法の理解を深め、基本的な諸技法について演習を通して学ぶ。	「日本画基礎実習1.2」を履修済であること。 実務経験教員 対面
YBE0592	日本画表現演習1	2	2.0	3	秋BC	月4, 5	程塚 敏明	各自の制作テーマを探究し、これまで習得した日本画の知識と技法を用いた総合的な演習を行う。	「日本画実習A-2」を履修済であること。 実務経験教員 対面
YBE0602	日本画表現演習2	2	2.0	3	秋BC	火4, 5	山本 浩之	各自の制作テーマを探究し、これまで習得した日本画の知識と技法を用いた総合的な演習を行う。	「日本画実習B-2」を履修済であること。 実務経験教員 対面
YBE0612	日本画表現演習3	2	2.0	3	秋BC	木4, 5	諏訪 智美	各自の制作テーマを探究し、これまで習得した日本画の知識と技法を用いた総合的な演習を行う。	「日本画実習C-2」を履修済であること。 実務経験教員 対面
YBE0622	日本画表現演習4	2	2.0	3	秋BC	金4, 5	程塚 敏明	各自の制作テーマを探究し、これまで習得した日本画の知識と技法を用いた総合的な演習を行う。	「日本画実習D-2」を履修済であること。 実務経験教員 対面
YBE0833	野外風景実習I	3	1.0	2	通年	随時	程塚 敏明, 山本 浩之, 諏訪 智美	学外実習として、約1週間、特定の写生地に宿泊して、風景写生を行う。	日本画領域対象。 実務経験教員 対面
YBE0843	野外風景実習II	3	1.0	3	通年	随時	程塚 敏明, 山本 浩之, 諏訪 智美	学外実習として、約1週間、特定の写生地に宿泊して、風景表現の実習を行う。	日本画領域対象。「野外風景実習I」を履修済であること。 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBE1112	日本画演習1	2	2.0	2	春AB	火2,3	諏訪 智美	花の写生をもとに日本画材料を使用した演習を通して、日本画の基本となるものの見方や、基礎的な表現技法の習得と材料の取り扱いについて学習する。	「日本画基礎演習1、2」を履修済みであること 実務経験教員 対面
YBE1122	日本画演習2	2	2.0	2	秋AB	火2,3	諏訪 智美	種々のモチーフの写生をもとに日本画材料を使用した演習を通して、日本画の基本となるものの見方や、基礎的な表現技法の習得と材料の取り扱いについて学習する。	「日本画基礎演習1、2」を履修済みであること 実務経験教員 対面
YBE1563	日本画実習A-1	3	1.0	3	春AB	月2,3	程塚 敏明	実習を通して日本画における形態について学習し、併せて日本画材料と描写との関係についても理解を深めることにより、多様な描写による表現の可能性を追求する。	「日本画実習1,2」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBE1573	日本画実習A-2	3	1.0	3	春C秋A	月2,3	程塚 敏明	実習を通して日本画における形態について学習し、併せて日本画材料と描写との関係についても理解を深めることにより、多様な描写による表現の可能性を追求する。	「日本画実習A-1」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBE1583	日本画実習B-1	3	1.0	3	春AB	火4,5	山本 浩之	実習を通して日本画における空間表現ならびに構図について学習し、併せて日本画材料と表現技法との関係についても理解を深めることにより、多様な空間表現及び画面構成の可能性を追求する。	「日本画実習1,2」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBE1593	日本画実習B-2	3	1.0	3	春C秋A	火4,5	山本 浩之	実習を通して日本画における空間表現ならびに構図について学習し、併せて日本画材料と表現技法との関係についても理解を深めることにより、多様な空間表現及び画面構成の可能性を追求する。	「日本画実習B-1」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBE1653	日本画実習C-1	3	1.0	3	春AB	木4,5	諏訪 智美	実習を通して、人体美の把握・プロポーション・動き・質量感の表現について学習し、併せて構図及び表現技法との関係についても理解を深めることにより、日本画制作における人体表現の可能性を追求する。	「日本画実習1,2」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBE1663	日本画実習C-2	3	1.0	3	春C秋A	木4,5	諏訪 智美	実習を通して、人体美の把握・プロポーション・動き・質量感の表現について学習し、併せて構図及び表現技法との関係についても理解を深めることにより、日本画制作における人体表現の可能性を追求する。	「日本画実習C-1」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBE1673	日本画実習D-1	3	1.0	3	春AB	金4,5	程塚 敏明	実習を通して、個々の表現意図から作品へ展開する手段について学習し、併せて日本画材料と表現技法との関係についても理解を深めることにより、多様な日本画表現の可能性を追求する。	「日本画演習1,2」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBE1683	日本画実習D-2	3	1.0	3	春C秋A	金4,5	程塚 敏明	実習を通して、個々の表現意図から作品へ展開する手段について学習し、併せて日本画材料と表現技法との関係についても理解を深めることにより、多様な日本画表現の可能性を追求する。	「日本画実習D-1」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBE1693	日本画特別実習A-1	3	1.0	4	春AB	月4,5	山本 浩之	実習を通して日本画における形態と描写の関係について追求し、日本画材料と表現の必然性について実践的に制作を行うことで、独創的な描写表現と技法を習得する。	「日本画実習A,B,C,D」「日本画技法演習」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBE1703	日本画特別実習A-2	3	1.0	4	春C秋A	月4,5	程塚 敏明	実習を通して日本画における形態と描写の関係について追求し、日本画材料と表現の必然性について実践的に制作を行うことで、独創的な描写表現と技法を習得する。	「日本画特別実習A-1」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBE1713	日本画特別実習B-1	3	1.0	4	春AB	火2,3	程塚 敏明	実習を通して日本画における空間表現ならびに構図について追求し、日本画材料と表現の必然性について実践的に制作を行うことで、独創的な空間表現と構成力を習得する。	「日本画実習A,B,C,D」「日本画技法演習」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBE1723	日本画特別実習B-2	3	1.0	4	春C秋A	火2,3	程塚 敏明	実習を通して日本画における空間表現ならびに構図について追求し、日本画材料と表現の必然性について実践的に制作を行うことで、独創的な空間表現と構成力を習得する。	「日本画特別実習B-1」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBE1773	日本画特別実習C-1	3	1.0	4	春AB	木2,3	山本 浩之	人体モデルの写生を通して人体の造形要素とともに内面的な要素についても追求し、日本画材料と人体表現の方法について実践的に制作を行うことで、独創的な表現を習得する。	「日本画実習A,B,C,D」「日本画技法演習」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBE1783	日本画特別実習C-2	3	1.0	4	春C秋A	木2,3	山本 浩之	人体モデルの写生を通して人体の造形要素とともに内面的な要素についても追求し、日本画材料と人体表現の方法について実践的に制作を行うことで、独創的な表現を習得する。	「日本画特別実習C-1」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBE1793	日本画特別実習D-1	3	1.0	4	春AB	金2,3	諏訪 智美	実習を通して、個々の表現意図から作品へ展開する方法について追求し、実践的に制作を行うことで高度な表現技法の習得と、独創的な表現力を養う。	「日本画実習A,B,C,D」「日本画技法演習」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBE1803	日本画特別実習D-2	3	1.0	4	春C秋A	金2,3	諏訪 智美	実習を通して、個々の表現意図から作品へ展開する方法について追求し、実践的に制作を行うことで高度な表現技法の習得と、独創的な表現力を養う。	「日本画特別実習D-1」を履修済みであること。 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBE9017	日本画領域研究Ⅰ	7	1.0	2	通年	随時	程塚 敏明, 山本浩之, 諏訪 智美	日本画領域におけるガイダンスを行い、履修方法・カリキュラムに関する検討を行う。	実務経験教員 対面
YBE9027	日本画領域研究Ⅱ	7	1.0	3	春ABC	随時	程塚 敏明, 山本浩之, 諏訪 智美	日本画領域におけるガイダンスを行い、履修方法・カリキュラムに関する検討を行う。作品制作鑑賞及び鑑賞制作を通して学習研究の成果を総合的に検討する。	実務経験教員 対面
YBE9037	日本画領域特別演習Ⅰ	7	1.0	3	秋ABC	随時	程塚 敏明, 山本浩之, 諏訪 智美	日本画領域におけるガイダンスを行い、履修方法・カリキュラムに関する検討を行う。作品制作及び発表を通して学習研究の成果を総合的に検討する。	・日本画領域を希望する学生。 ・いずれかの領域研究Ⅰ,Ⅱ(日本画領域のものが望ましい)を履修済で、専門科目(YBE)を10単位程度取得していることが望ましい。事前に担当教員に相談する事。 実務経験教員 対面(オンライン併用型) ・TOEICR IPテストの受験必須 ・自己達成度評価をおこなうこと。
YBE9047	日本画領域特別演習Ⅱ	7	1.0	4	春ABC	随時	程塚 敏明, 山本浩之, 諏訪 智美	日本画領域における卒業研究の指導を行う。	日本画領域の学生に限る 実務経験教員 対面
YBE9057	日本画領域特別演習Ⅲ	7	1.0	4	秋ABC	随時	程塚 敏明, 山本浩之, 諏訪 智美	日本画領域における卒業研究の指導を行う。	日本画領域の学生に限る 実務経験教員 対面 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBE9918	卒業研究A(日本画領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	程塚 敏明, 山本浩之, 諏訪 智美	専門に関する研究を行い制作と論文にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得点が30単位以下であること。 実務経験教員 対面
YBE9928	卒業研究B(日本画領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	程塚 敏明, 山本浩之, 諏訪 智美	専門に関する研究を行い制作と論文にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得点が30単位以下であること。 実務経験教員 対面

専門科目(彫塑領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBF0214	彫塑論・演習Ⅰ	4	1.0	2	春AB	金1	大原 央聡, 宮坂 慎司, 川島 史也	彫塑表現について、主として、素材論、技法論の立場から、その性質を解明する。また近現代における彫刻の動向についても学習し、塑造実習、鍛造実習、テラコッタ実習、に必要な事項についての理解、及び知識を身につける。	「彫塑概論」を履修していること 実務経験教員 対面
YBF0224	彫塑論・演習Ⅱ	4	1.0	2	秋AB	金1	大原 央聡, 宮坂 慎司, 川島 史也	彫塑表現について、主として、素材論、技法論の立場から、その性質を解明する。また近現代における彫刻の動向についても学習し、木彫実習・木彫制作に必要な事項についての理解、及び知識を身につける。	「彫塑論・演習Ⅰ」を履修していること 実務経験教員 対面
YBF1023	彫塑特別実習	3	1.0	4	通年	随時	大原 央聡, 宮坂 慎司, 川島 史也	彫塑領域における学習研究の成果を展示を通して総合的に検討する。	彫塑領域対象 実務経験教員 対面
YBF1102	学外演習(彫塑)	2	1.0	3・4	通年	随時	大原 央聡, 宮坂 慎司, 川島 史也	現存する歴史的な作品。あるいは、現代彫刻の作品を、実際に訪ねて研究する。また、そのための予備知識としての資料の収集整理及び結果の報告についても演習する。	彫塑領域対象 実務経験教員 対面
YBF2313	塑造実習ⅠA-1	3	1.0	2	春ABC	月4,5 随時	川島 史也, 大原 央聡, 宮坂 慎司	塑造による人体陶像・全身像制作を主とする。人物モデルによる制作を通して、観察力を鋭敏にし、基礎的な形態把握を第一義とする。一個の塊として対象を捉え、大掴みに形態を把握し、表現する能力を養う。	「彫塑基礎演習1,2,3」の履修者を優先する。人数制限あり。 実務経験教員 対面
YBF2323	塑造実習ⅠA-2	3	1.0	2	秋ABC	月4,5 随時	川島 史也, 大原 央聡, 宮坂 慎司	塑造による人体陶像・全身像制作を主とする。人物モデルによる制作を通して、観察力を鋭敏にし、基礎的な形態把握を第一義とする。一個の塊として対象を捉え、大掴みに形態を把握し、表現する能力を養う。	「塑造実習ⅠA-1」を履修済みのこと。 実務経験教員 対面
YBF2333	塑造実習ⅠB-1	3	1.0	2	春ABC	火2,3 随時	宮坂 慎司, 大原 央聡, 川島 史也	塑造による人体陶像・全身像制作を主とする。人物モデルによる制作を通して、観察力を鋭敏にし、基礎的な形態把握を第一義とする。一個の塊として対象を捉え、大掴みに形態を把握し、表現する能力を養う。	「彫塑基礎演習1,2,3」の履修者を優先する。人数制限あり。 実務経験教員 対面
YBF2343	塑造実習ⅠB-2	3	1.0	2	秋ABC	火2,3 随時	宮坂 慎司, 大原 央聡, 川島 史也	塑造による人体陶像・全身像制作を主とする。人物モデルによる制作を通して、観察力を鋭敏にし、基礎的な形態把握を第一義とする。一個の塊として対象を捉え、大掴みに形態を把握し、表現する能力を養う。	「塑造実習ⅠB-1」を履修済みのこと。 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBF2512	木彫演習	2	2.0	2	秋ABC	木5,6 随時	大原 央聡	木材を用いて小品の制作・発表を行う。木彫用具の基本的な使用法や木彫表現の基礎を体得する。	人数制限あり「彫塑基礎演習」を履修していること。 実務経験教員 対面
YBF2722	テラコッタ造形演習	2	2.0	2	春AB 秋C	水2,3 集中	宮坂 慎司, 大原 央聡	粘土を用いて造形を行い、焼成して作品化する。テラコッタ技法の基礎を学び、その成果についてプレゼンテーションを行う。	人数制限あり。「彫塑基礎演習」を履修していること。 実務経験教員 対面
YBF3313	塑造実習IIA-1	3	1.0	3	春ABC	月2,3 集中	大原 央聡, 宮坂 慎司, 川島 史也	塑造による等身大全身像を制作する。主に立ちポーズの制作実習を通して、彫塑的立体把握の能力を更に養う。併せて、量塊と面の関係や、構築性、空間性といった彫塑の造形要素について理解を深める。塑造実習Iで培われた造形力を高次なものへと発展させる。	「塑造実習IIA,B」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBF3323	塑造実習IIA-2	3	1.0	3	秋ABC	月2,3 集中	大原 央聡, 宮坂 慎司, 川島 史也	塑造による等身大全身像を制作する。立ちポーズや座りポーズの制作実習を通して、彫塑的立体把握の能力を更に養う。量塊と面の関係や、構築性、空間性といった彫塑の造形要素について理解を深め、表現力をより高次なものへと発展させる。	「塑造実習IIA,B」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBF3333	塑造実習IIB-1	3	1.0	3	春ABC	火4,5 集中	宮坂 慎司, 大原 央聡, 川島 史也	塑造による等身大全身像を制作する。主に立ちポーズの制作実習を通して、彫塑的立体把握の能力を更に養う。併せて、量塊と面の関係や、構築性、空間性といった彫塑の造形要素について理解を深める。塑造実習Iで培われた造形力を高次なものへと発展させる。	「塑造実習IIA,B」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBF3343	塑造実習IIB-2	3	1.0	3	秋ABC	火4,5 集中	宮坂 慎司, 大原 央聡, 川島 史也	塑造による等身大全身像を制作する。立ちポーズや座りポーズの制作実習を通して、彫塑的立体把握の能力を更に養う。量塊と面の関係や、構築性、空間性といった彫塑の造形要素について理解を深め、表現力をより高次なものへと発展させる。	「塑造実習IIA,B」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBF3353	塑造実習IIC-1	3	1.0	3	春ABC	水2,3 木4,5 随時	川島 史也, 大原 央聡, 宮坂 慎司	塑造による等身大全身像を制作する。主に立ちポーズの制作実習を通して、彫塑的立体把握の能力を更に養う。併せて、量塊と面の関係や、構築性、空間性といった彫塑の造形要素について理解を深める。塑造実習Iで培われた造形力を高次なものへと発展させる。	「塑造実習IIA,B」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBF3363	塑造実習IIC-2	3	1.0	3	秋ABC	水2,3 木4,5 随時	川島 史也, 大原 央聡, 宮坂 慎司	塑造による等身大全身像を制作する。立ちポーズや座りポーズの制作実習を通して、彫塑的立体把握の能力を更に養う。量塊と面の関係や、構築性、空間性といった彫塑の造形要素について理解を深め、表現力をより高次なものへと発展させる。	「塑造実習IIA,B」を履修済みであること。 実務経験教員 対面
YBF3512	彫刻演習IA-1	2	2.0	3	春ABC	木2,3 随時	大原 央聡	手彫りを主として、木彫の基礎的な感覚と技術を習練する。等身大の胸像を樟材を使って制作し、木彫表現の可能性を追求する。	「木彫演習」を履修していることが望ましい。 実務経験教員 対面
YBF3522	彫刻演習IA-2	2	2.0	3	秋ABC	木2,3 随時	大原 央聡	手彫りを主として、木彫の基礎的な感覚と技術を習練する。彫刻演習IA-1での制作を基に、さらに木彫表現の可能性を追求する。	「彫刻演習IA-1」を履修していること。 実務経験教員 対面
YBF3532	彫刻演習IB-1	2	2.0	3	春ABC 春学期	金2,3 集中	川島 史也, 大原 央聡, 宮坂 慎司, 鈴木 典生	石彫の基礎的な制作を通した演習を行う。鑿の制作から始め、大理石や御影石などの中硬度石を材として、ハンド工具による制作演習を行う。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YBF3542	彫刻演習IB-2	2	2.0	3	秋ABC	金2,3 集中	川島 史也, 大原 央聡, 宮坂 慎司, 鈴木 典生	石彫の基礎的な制作を通した演習を行う。大理石や御影石などの中硬度石を材として、ハンド工具による制作演習を行う。成果についてプレゼンテーションを行う。	「彫刻演習IB-1」を履修していること。 実務経験教員 対面
YBF3712	乾漆演習	2	2.0	3	春ABC	火2,3 集中	川島 史也, 大原 央聡	漆を主材料とする乾漆技法による彫刻制作を行う。石膏型を用いた脱活乾漆の制作と演習を通して、各種材料の特性や技法を学ぶ。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YBF3722	鋳造演習	2	2.0	3	秋ABC	火2,3 集中	川島 史也, 大原 央聡, 宮坂 慎司	蠟型石膏鋳型鋳造法の基本的な原理を学び、鋳造の制作工程を体験する。演習を通して、立体造形とブロンズの素材との関わりを実感し、彫塑の基礎的な感覚と技術を習練する。	人数制限あり 実務経験教員 対面
YBF4313	塑造実習IIIA	3	1.0	4	春ABC	月4,5 集中	大原 央聡, 宮坂 慎司, 川島 史也	人物モデルを表現対象として、全身像の等身大作品を制作する。塑造実習I・IIでの学びを基礎として、より高度な彫塑における表現力を体得する。フォルムの造形力はもとより、量塊及びその構築性、空間性の表現を確かなものとし、諸感覚力の伸展を図る。	「塑造実習IIA,B,C」を履修済みであること 実務経験教員 対面
YBF4323	塑造実習IIIB	3	1.0	4	春ABC	火2,3 集中	宮坂 慎司, 大原 央聡, 川島 史也	人物モデルを表現対象として、全身像の等身大作品を制作する。塑造実習I・IIでの学びを基礎として、より高度な彫塑における表現力を体得する。フォルムの造形力はもとより、量塊及びその構築性、空間性の表現を確かなものとし、諸感覚力の伸展を図る。	「塑造実習IIA,B,C」を履修済みであること 実務経験教員 対面
YBF4333	塑造実習IIIC	3	1.0	4	春ABC	木2,3 集中	川島 史也, 大原 央聡, 宮坂 慎司	人物モデルを表現対象として、全身像の等身大作品を制作する。塑造実習I・IIでの学びを基礎として、より高度な彫塑における表現力を体得する。フォルムの造形力はもとより、量塊及びその構築性、空間性の表現を確かなものとし、諸感覚力の伸展を図る。	「塑造実習IIA,B,C」を履修済みであること 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBF4512	彫刻演習IIA	2	2.0	4	春ABC	木5,6 集中	大原 央聡	彫刻演習IAに引き続き、手彫りを主体としながらも一部電動工具も併用し、各種の木材による彫刻表現の可能性を追求する。各自自由に題材を選んで小品を制作する演習を通して、より高度な表現感覚と技術の習練をする。	「彫刻演習IA-2」を履修済みであること 実務経験教員 対面
YBF4522	彫刻演習IIB	2	2.0	4	春ABC 春学期	金2,3 集中	川島 史也, 大原 央聡, 宮坂 慎司	彫刻演習IBに引き続き、ハンド工具による手彫りを主とした制作を行う。大理石、安山岩(小松石)、御影石、斑瀾岩(黒御影石)などの中ブロック石材により石彫表現の可能性をさぐる。演習を通して、石彫表現のより高度な技術と感覚を身につける。	「彫刻演習I-B-2」を履修済みであること 実務経験教員 対面
YBF9017	彫塑領域研究I	7	1.0	2	通年	随時	大原 央聡, 宮坂 慎司, 川島 史也	彫塑領域におけるガイダンスを行い、履修方法・カリキュラムに関する検討を行う。	実務経験教員 対面
YBF9027	彫塑領域研究II	7	1.0	3	春ABC	随時	大原 央聡, 宮坂 慎司, 川島 史也	彫塑領域におけるガイダンスを行い、履修方法・カリキュラムに関する検討を行う。作品発表を通して学習研究の成果を総合的に検討する。	彫塑領域の学生に限る 実務経験教員 対面
YBF9037	彫塑領域特別演習I	7	1.0	3	秋ABC	随時	大原 央聡, 宮坂 慎司, 川島 史也	彫塑領域におけるガイダンスを行い、履修方法・カリキュラムに関する検討を行う。作品発表を通して学習研究の成果を総合的に検討する。	・彫塑領域学生を希望する学生。 ・いずれかの領域研究I, II (彫塑領域のものが望ましい)を履修済で、専門科目(YBF、YBC、YBD、YBE)を10単位程度取得していることが望ましい。事前に担当教員に相談する事。 実務経験教員 対面(オンライン併用型) ・TOEICR IPテストの受験必須 ・自己達成度評価をおこなうこと
YBF9047	彫塑領域特別演習II	7	1.0	4	春ABC	随時	大原 央聡, 宮坂 慎司, 川島 史也	彫塑領域における卒業研究の指導を行う。	彫塑領域の学生に限る 実務経験教員 対面
YBF9057	彫塑領域特別演習III	7	1.0	4	秋ABC	随時	大原 央聡, 宮坂 慎司, 川島 史也	彫塑領域における卒業研究の指導を行う。	彫塑領域の学生に限る 実務経験教員 対面 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBF9918	卒業研究A(彫塑領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	大原 央聡, 宮坂 慎司, 川島 史也	指導教員の下で専門に関する研究を行い制作と論文にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面
YBF9928	卒業研究B(彫塑領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	大原 央聡, 宮坂 慎司, 川島 史也	指導教員の下で専門に関する研究を行い制作と論文にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面

専門科目(書領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBG0231	書鑑賞論A	1	1.0	2	春AB	火3	尾川 明穂	書における鑑賞の重要性を説き、中国・日本における鑑賞行為やその歴史・形態について講述する。	実務経験教員 対面
YBG0241	書鑑賞論B	1	1.0	2	春C	火4,5	尾川 明穂	書における鑑賞の重要性を説き、中国・日本における鑑賞行為やその歴史・形態について講述する。	実務経験教員 対面
YBG0251	書鑑賞論C	1	1.0	2	秋AB	火3	尾川 明穂	書における鑑賞の重要性を説き、中国・日本における鑑賞行為やその歴史・形態について講述する。	実務経験教員 対面
YBG0331	書学方法論A	1	1.0	3	春AB	木3	高橋 佑太	中国書法全般にわたる研究方法について、特に文献・工具書等の活用法という側面に主眼を置いてこれを考える。	実務経験教員 対面
YBG0341	書学方法論B	1	1.0	3	春C	木4,5	高橋 佑太	中国書法全般にわたる研究方法について、特に文献・工具書の活用法という側面に主眼を置いてこれを考える。	実務経験教員 対面
YBG0351	書学方法論C	1	1.0	3	秋AB	木3	高橋 佑太	中国書法全般にわたる研究方法について、特に文献・工具書の活用法という側面に主眼を置いてこれを考える。	実務経験教員 対面
YBG0432	書基礎演習I-3	2	2.0	1	秋AB	金4,5	尾川 明穂, 高橋 佑太	漢字と仮名の古典的名跡を学び、実作面における基礎力の養成をめざす。	実務経験教員 対面
YBG0512	書基礎演習II-1	2	2.0	2	春AB	火4,5	菅野 智明, 尾川 明穂	中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	実務経験教員 対面
YBG0522	書基礎演習II-2	2	1.0	2	春C	金3,4	高橋 佑太	中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBG0532	書基礎演習II-3	2	2.0	2	秋AB	火4, 5	菅野 智明, 尾川 明穂	中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	実務経験教員 対面
YBG0612	書漢字演習A-1	2	2.0	2・3	春AB	木4, 5	高橋 佑太	中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBG0622	書漢字演習A-2	2	2.0	2・3	秋AB	木4, 5	高橋 佑太	中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBG0632	書漢字演習B-1	2	2.0	2・3				中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBG0642	書漢字演習B-2	2	2.0	2・3				中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBG0652	書漢字演習C-1	2	2.0	4	春ABC	水1, 2	高橋 佑太	中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	実務経験教員 対面
YBG0662	書漢字演習C-2	2	2.0	4	秋AB	水1, 2	高橋 佑太	中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	実務経験教員 対面
YBG0712	書仮名演習A-1	2	2.0	2・3	春AB	金3 集中	尾川 明穂	代表的な古筆の臨書・做書を通して仮名技法と構成美を学び、あわせて大字作品への展開を図る。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBG0722	書仮名演習A-2	2	2.0	2・3	秋AB	金3 集中	尾川 明穂	代表的な古筆の臨書・做書を通して仮名技法と構成美を学び、あわせて大字作品への展開を図る。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBG0732	書仮名演習B-1	2	2.0	2・3				代表的な古筆の臨書・做書を通して仮名技法と構成美を学び、あわせて大字作品への展開を図る。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBG0742	書仮名演習B-2	2	2.0	2・3				代表的な古筆の臨書・做書を通して仮名技法と構成美を学び、あわせて大字作品への展開を図る。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBG0752	書仮名演習C-1	2	2.0	4	春ABC	木1, 2	尾川 明穂, 高橋 佑太	古典を自由に選択することにより、自己の作風の拡充に努める。	実務経験教員 対面
YBG0762	書仮名演習C-2	2	2.0	4	秋AB	木1, 2	尾川 明穂, 高橋 佑太	古典を自由に選択することにより、自己の作風の拡充に努める。	実務経験教員 対面
YBG0832	学外演習(書)A-1	2	1.0	1 - 4				博物館、美術館で書作品などを鑑賞し、教養を深める。	書領域対象 西暦奇数年度開講。 対面
YBG0842	学外演習(書)A-2	2	1.0	1 - 4				博物館、美術館で書作品などを鑑賞し、教養を深める。	書領域対象。 西暦奇数年度開講。 対面
YBG0852	学外演習(書)B-1	2	1.0	1 - 4	通年	随時	菅野 智明, 尾川 明穂, 高橋 佑太	博物館、美術館で書作品などを鑑賞し、教養を深める。	書領域対象。 西暦偶数年度開講。 対面
YBG0862	学外演習(書)B-2	2	1.0	1 - 4	通年	随時	菅野 智明, 尾川 明穂, 高橋 佑太	博物館、美術館で書作品などを鑑賞し、教養を深める。	書領域対象。 西暦偶数年度開講。 対面
YBG1531	中国書法史A	1	1.0	2	春AB	火2	菅野 智明	中国の書の変遷について講述する。	実務経験教員 対面
YBG1541	中国書法史B	1	1.0	2	春C	火2, 3	菅野 智明	中国の書の変遷について講述する。	実務経験教員 対面
YBG1551	中国書法史C	1	1.0	2	秋AB	火2	菅野 智明	中国の書の変遷について講述する。	実務経験教員 対面
YBG1631	日本書道史A	1	1.0	3	春AB	水3	尾川 明穂	日本の書の変遷について講述する。	実務経験教員 対面
YBG1641	日本書道史B	1	1.0	3	春C	水・木 3	尾川 明穂	日本の書の変遷について講述する。	実務経験教員 対面
YBG1651	日本書道史C	1	1.0	3	秋AB	水3	尾川 明穂	日本の書の変遷について講述する。	実務経験教員 対面
YBG9017	書領域研究I	7	1.0	2	通年	随時	菅野 智明, 尾川 明穂, 高橋 佑太	書領域におけるガイダンスに基づき、履修方法・カリキュラムについて理解を深めるとともに、作品鑑賞や制作を通して、自身の専門性を高める。	対面
YBG9027	書領域研究II	7	1.0	3	春ABC	随時	菅野 智明, 尾川 明穂, 高橋 佑太	書領域におけるガイダンスに基づき、履修方法・カリキュラムについて理解を深めるとともに、作品鑑賞や制作を通して、自身の専門性を高める。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBG9037	書領域特別演習Ⅰ	7	1.0	3	秋ABC	随時	菅野 智明, 尾川明穂, 高橋 佑太	書領域における卒業研究に向けた研究計画の指導を行う。	・書領域を希望する学生 ・いずれかの領域研究Ⅰ,Ⅱ(書領域のものが望ましい)を履修済で、専門科目(YBG)を10単位程度取得していることが望ましい。事前に担当教員に相談する事。 対面 ・TOEICR IPテストの受験必須 ・自己達成度評価をおこなうこと。
YBG9047	書領域特別演習Ⅱ	7	1.0	4	春ABC	随時	菅野 智明, 尾川明穂, 高橋 佑太	書領域における卒業研究の指導を行う。	書領域の学生に限る 対面
YBG9057	書領域特別演習Ⅲ	7	1.0	4	秋ABC	随時	菅野 智明, 尾川明穂, 高橋 佑太	書領域における卒業研究の指導を行う。	書領域の学生に限る 対面 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBG9918	卒業研究A(書領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	菅野 智明, 尾川明穂, 高橋 佑太	専門に関する研究を行い、制作と論文にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 対面
YBG9928	卒業研究B(書領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	菅野 智明, 尾川明穂, 高橋 佑太	専門に関する研究を行い、制作と論文にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 対面

専門科目(工芸領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBH0201	木材造形論	1	1.0	2	春AB	木1	宮原 克人	工芸の分野で従来から活用されてきた造形素材のうち、木と漆を中心に取り上げて概説する。	実務経験教員 対面
YBH0301	工芸特講	1	1.0	1・2				私たちは「みる」ことで何を得ているのか。また「つくる」との関係はどのように構築できるのか。鑑賞を目的ではなく手法の一つとして捉え、そのプロセスから造形思考をたどって自身の「言葉」を生成する。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
YBH0602	学外演習(工芸領域)	2	1.0	3	通年	随時	齋藤 敏寿, 宮原克人, 勝川 夏樹	美術館、博物館、工房、各種企業などを訪れて見学・演習を行う。	実務経験教員 対面
YBH0702	ガラス基礎演習	2	2.0	2	夏季休業中	随時	勝川 夏樹	電気炉を用いたキルンワークにおいて、フュージング技法とスランピング技法を中心とした演習を行い、ガラス素材の基礎的な特性を学ぶ。	実務経験教員 対面 人数制限あり(10名程度)YAH1012工芸基礎演習(ガラス)を履修済みのこと
YBH0722	ガラス技術演習	2	2.0	2				コールドワークを中心とした演習を通じて、室温下でのガラス加工技術を習得する。	2026年度開講せず。 実務経験教員 対面 人数制限あり。 YAH1012工芸基礎演習(ガラス)を履修済みのこと。2026年度・2027年度の開講なし
YBH0762	ガラス造形演習Ⅰ	2	2.0	3	春AB	水2,3	勝川 夏樹	ガラス造形技法について調査を通して、自身のテーマに適した技法を習得しガラス作品を制作する。	実務経験教員 対面 人数制限ありYBH0722ガラス技術演習または、YBH0702ガラス基礎演習を履修済みのこと。2026年度・2027年度の開講なし。
YBH0772	ガラス造形演習Ⅱ	2	2.0	3	秋AB	水2,3	勝川 夏樹	ガラス造形作品について調査し、模作を行う。そこで得た知見や習得した技法を生かし、作品制作を行う。	実務経験教員 対面 人数制限ありYBH0762ガラス造形演習Ⅰを履修済みのこと。2026年度・2027年度の開講なし
YBH0802	木工基礎演習	2	2.0	2	春C	月3-6	宮原 克人	刳物技法を用いた作品制作を通して、木工制作の基礎的知識・技術を修得する。	人数制限あり。 実務経験教員 対面
YBH0822	木工技術演習	2	2.0	2・3	秋AB	月3,4	宮原 克人	刳物の研ぎ、木工道具の仕立てを通して、木工制作の基礎的知識・技術を修得する。仕立てた刳物を用い作品制作を行う。	人数制限あり。 実務経験教員 対面
YBH0832	漆芸技法演習	2	2.0	2	春ABC	火3,4	宮原 克人	漆芸の基礎的な技術(塗)を習得する。	人数制限あり。 実務経験教員 対面
YBH0842	漆芸制作演習	2	2.0	2	秋ABC	火3,4	宮原 克人	漆芸の基礎的な技術(乾漆技法・装飾技法)を習得する。	漆芸技法演習を履修済みのこと。人数制限あり。 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBH0852	木材造形演習	2	4.0	3	春AB	月・木3,4	宮原 克人	木材造形の基本的な知識と加工技術を学びながら、椅子制作の演習を行う。	木工基礎演習、木工技術演習を履修済みのこと。 実務経験教員 対面
YBH0902	陶磁基礎演習	2	2.0	2	春AB	月5,6	齋藤 敏寿	陶磁制作の基礎的知識・技術を修得する。	授業時間以外に窯焼成等(温度管理)の時間を確保できること。 実務経験教員 対面
YBH0932	ロクロ技法演習	2	2.0	2・3	秋AB	月5,6	齋藤 敏寿	基礎的なロクロ制作技術を習得する為の演習を行う。	授業時間以外に窯焼成等(温度管理)の時間を確保できること。人数制限あり24名まで。 実務経験教員 対面 人数制限を設ける。
YBH0942	陶磁造形演習I	2	2.0	3	春AB	火5,6	齋藤 敏寿	土(粘土)から陶磁へ至る基礎的な技法・技術(石膏型による成形方法)を基に陶磁素材の特長を活かした作品を制作する。	作品の焼成管理を自主的に行うこと。 実務経験教員 対面
YBH0952	陶磁造形演習II	2	2.0	3	秋AB	木5,6	齋藤 敏寿	土(粘土)から陶磁へ至る基礎的な技法・技術・装飾(釉薬研究)を基に陶磁素材の特長を活かした作品を制作する。	作品の焼成管理を自主的に行うこと。 実務経験教員 対面
YBH0972	窯芸技法演習	2	2.0	2・3	春C夏季休業中	随時	齋藤 敏寿	陶磁制作の基礎的知識・技術(特に窯の使用方法)を修得する。	授業時間以外に窯焼成等(温度管理)の時間を確保できること。 実務経験教員 対面
YBH9017	工芸領域研究I	7	1.0	2	通年	随時	齋藤 敏寿, 宮原 克人, 勝川 夏樹	授業を通して行った研究や作品制作について、その成果を発表する機会を設け、プレゼンテーションや自己の研究を客観的に分析する力を養う。	実務経験教員 対面
YBH9027	工芸領域研究II	7	1.0	3	春ABC	随時	齋藤 敏寿, 宮原 克人, 勝川 夏樹	授業を通して行った研究や作品制作について、その成果を発表する機会を設け、プレゼンテーションや自己の研究を客観的に分析する力を養う。	実務経験教員 対面
YBH9037	工芸領域特別演習I	7	1.0	3	秋ABC	随時	齋藤 敏寿, 宮原 克人, 勝川 夏樹	3年次までの研究成果として作品やプレゼンボード等を制作し、年度末に公開展示する展覧会の企画運営を行う。	・工芸領域学生を希望する学生 ・いずれかの領域研究I, II(工芸領域のものが望ましい)を履修済で、専門科目(YBH, YBJ, YBK, YBL)を10単位程度取得していることが望ましい。事前に担当教員に相談すること。 実務経験教員 対面(オンライン併用型) ・TOEICR IPテストの受験必須 ・自己達成度評価をおこなうこと。
YBH9047	工芸領域特別演習II	7	1.0	4	春ABC	随時	齋藤 敏寿, 宮原 克人, 勝川 夏樹	工芸領域における卒業研究の指導を行う。	工芸領域の学生に限る 実務経験教員 対面
YBH9057	工芸領域特別演習III	7	1.0	4	秋ABC	随時	齋藤 敏寿, 宮原 克人, 勝川 夏樹	工芸領域における卒業研究の指導を行う。	工芸領域の学生に限る 実務経験教員 対面 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBH9918	卒業研究A(工芸領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	齋藤 敏寿, 宮原 克人, 勝川 夏樹	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面
YBH9928	卒業研究B(工芸領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	齋藤 敏寿, 宮原 克人, 勝川 夏樹	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面

専門科目(総合造形領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBJ0101	メディア・アート論	1	1.0	3	春AB	金3	村上 史明	最先端のテクノロジーを使用した芸術作品の解説を行い、芸術と科学技術との関係について考察する。	実務経験教員 対面
YBJ0111	現代美術論A	1	1.0	3・4	春ABC	水3	小野 裕子, 北澤 潤	芸術の「ゆさぶり」と「まなざし」という性質に根ざしながら、さまざまなジャンルに広がる現代美術の中でも特に社会と関わる作品を題材とした実践例を考察する。	実務経験教員 オンライン
YBJ0131	総合表現論	1	1.0	3・4	通年	随時	土佐 信道, 小野 裕子	ミクストメディア表現における動く機械作品とプロダクト玩具の相互作用による独創性を概説し、これまでのミクストメディア表現の新たな観点を考察する。	実務経験教員 オンライン

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
YBJ0141	現代美術制作論	1	1.0	3・4	秋AB	水3	東 弘一郎	現代アートにおける多様な表現手法とその社会・文化的背景を学び、アート制作・批評・企画提案をして、「社会との対話」「制作過程」や「参加型の体験」として捉える視点を養うことを目指す。大地の芸術祭などの全国での芸術祭での制作事例を交え、21世紀の現代アートから地域のアートイベントやアートプロジェクトについて学ぶ。	実務経験教員 対面(オンライン併用型) YBJ0121「現代美術論B」を履修していない学生を優先する。
YBJ0212	総合造形創作演習A-I	2	2.0	2	春AB	火3,4	小野 裕子	総合造形の観点から、樹脂素材などを用いて立体造形の作品制作を行う。	人数制限あり(20名)。 実務経験教員 対面
YBJ0222	総合造形創作演習A-II	2	2.0	2	秋AB	火3,4	小野 裕子	総合造形の観点から、樹脂素材などを用いてミクストメディアによる立体造形の作品制作を行う。	人数制限あり(20名)。 実務経験教員 対面
YBJ0232	総合造形創作演習B	2	2.0	3・4	秋AB	木3,4	小野 裕子, 吉田 伸	総合造形的な視点を基に、特殊メイクによる身体造形の制作を行う。	人数制限あり(10名)。 実務経験教員 対面
YBJ0342	キネティックアート演習	2	2.0	2・3	通年	随時	土佐 信道, 小野 裕子	機械技術を背景に20世紀に登場した「キネティックアート」を考察しつつ、実際にソレノイドを使ったキネティックアートの制作を通しながら、工具・工作機械の使い方、手で作ることの重要性、およびデジタル加工の技術を学ぶ。作品ポートフォリオ審査によって履修者を抽選する。	実務経験教員 対面 人数制限あり(15名)。 YBJ0322「総合造形表現演習I」を履修していない学生を優先する。
YBJ0352	総合造形制作演習I	2	2.0	2・3	春AB	火4,5	東 弘一郎	「工作」をテーマに現代美術作品の制作プロセスを学ぶ。総合造形的な視点から自分の興味や関心を原動力にして、素材が生み出す偶発的な要素に目を向けた制作研究を進める。	実務経験教員 対面(オンライン併用型) 人数制限あり YBJ0312「総合造形表現演習I」を履修していない学生を優先する。
YBJ0362	総合造形制作演習II	2	2.0	2・3	通年	集中	東 弘一郎	「工作・フィールドワーク」をテーマに現代美術作品の制作プロセスを学ぶ。総合造形的な視点から受講者同士がグループに分かれ、学内外の特定地域を対象にリサーチを行い、そこで得られた知識や情報に基づいて作品の制作に取り組む。	実務経験教員 対面(オンライン併用型) 人数制限あり(20名程度)「総合造形表現演習I」を履修済、または同等の知識・技術を有していることが望ましい。また、YBJ0322「総合造形表現演習II」を履修していない学生を優先する。
YBJ0602	学外演習(総合造形領域)	2	1.0	3	通年	随時	土佐 信道, 村上 史明, 小野 裕子, 東 弘一郎	美術館、博物館、工房、各種企業などを訪ねて見学・演習を行う。	実務経験教員 対面(オンライン併用型) 教室の利用無し。
YBJ0701	インスタレーションアート	1	1.0	3・4	秋AB	水2	小野 裕子	サイトスペシフィックによる芸術表現をリサーチし、場所性を生かした表現を考察する。	実務経験教員 対面(オンライン併用型)
YBJ1512	メディアアート・プログラミング	2	2.0	2・3	春AB	木3,4	村上 史明	プログラミングを用いた造形理論及び図形処理技術を学び、インタラクティブアートの制作を行う。	メディアアート・フィジカルコンピューティングと併せて履修すること。 実務経験教員 対面
YBJ1522	メディアアート・フィジカルコンピューティング	2	2.0	2・3	秋AB	木3,4	村上 史明	プログラミングを用いた造形理論及び図形処理技術を学び、インタラクティブアートの制作を行う。	メディアアート・プログラミングと併せて履修すること。 実務経験教員 対面
YBJ5422	現代アート・メディアアート演習	2	2.0	3・4	秋AB	金3,4	村上 史明	異分野の学生同士のコラボレーションにより、映像やインタラクティブアートの要素を含めた、メディアアート作品の提案・制作を行う。	2024年度以前の「YBJ5412(GC27902と同一)ハイブリッドアート演習」を履修した者は履修不可。 GC27992と同一。 実務経験教員 対面
YBJ9017	総合造形領域研究I	7	1.0	2	通年	随時	土佐 信道, 村上 史明, 小野 裕子, 東 弘一郎	総合造形領域における授業課題の成果物を発表する機会を設け、プレゼンテーション力を養うと共に、自己の研究テーマを探る。	実務経験教員 対面(オンライン併用型)
YBJ9027	総合造形領域研究II	7	1.0	3	春ABC	随時	土佐 信道, 村上 史明, 小野 裕子, 東 弘一郎	総合造形領域において、各自が設定したテーマに基づいて制作実践および理論研究を進め、その成果を作品やプレゼンボード、レポートなどにまとめる。	実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBJ9037	総合造形領域特別演習Ⅰ	7	1.0	3	秋ABC	随時	土佐 信道, 村上史明, 小野 裕子, 東 弘一郎	総合造形領域において、各自が設定したテーマに基づいて制作実践および理論研究を進め、その成果を作品やプレゼンボード、レポートなどにまとめる。	・総合造形領域学生を希望する学生 ・いずれかの領域研究Ⅰ,Ⅱ(総合造形領域のものが望ましい)を履修済で、専門科目(YBH、YBJ、YBK、YBL)を10単位程度取得していることが望ましい。 事前に担当教員に相談する事。 実務経験教員対面(オンライン併用型) ・TOEICR IPテストの受験必須 ・自己達成度評価をおこなうこと。
YBJ9047	総合造形領域特別演習Ⅱ	7	1.0	4	春ABC	随時	土佐 信道, 村上史明, 小野 裕子, 東 弘一郎	総合造形領域における卒業研究の指導を行う。	総合造形領域の学生に限る 実務経験教員対面(オンライン併用型)
YBJ9057	総合造形領域特別演習Ⅲ	7	1.0	4	秋ABC	随時	土佐 信道, 村上史明, 小野 裕子, 東 弘一郎	総合造形領域における卒業研究の指導を行う。	総合造形領域の学生に限る 実務経験教員対面(オンライン併用型) 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBJ9918	卒業研究A(総合造形領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	土佐 信道, 村上史明, 小野 裕子, 東 弘一郎	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得点が30単位以下であること。 実務経験教員対面
YBJ9928	卒業研究B(総合造形領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	土佐 信道, 村上史明, 小野 裕子, 東 弘一郎	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得点が30単位以下であること。 実務経験教員対面

専門科目(構成領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBK0602	学外演習(構成領域)	2	1.0	3	通年	随時	上浦 佑太, 山本 早里, 大友 邦子	美術館、博物館、工房、各種企業などを訪ねて見学・演習を行う。	対面 教室の利用なし。
YBK0901	色彩学	1	1.0	2	春AB	火2	山本 早里	色彩学の基礎を学ぶ。色が見えるしくみ、表色系、心理効果、調和論などを概説する。	実務経験教員対面
YBK1001	装飾造形論	1	1.0	1・2	秋AB	木5	大友 邦子	装飾に関わる造形活動について多角的に考える。構成学とシュバヌンク、装いと飾る行為、デザイン展開例としての図案と紋、模様(プリントデザイン)、立体物のサーフェイス等をキーワードとして講ずる。	実務経験教員対面
YBK1101	造形発想論	1	1.0	1・2	秋AB	木3	上浦 佑太	発想力を養うために必要な観点について、創作現場の実例や創造性研究に基づいて講義する。造形表現分野における参考事例を中心に取り上げるが、あらゆる分野に共通して役立つ観点として提供する。	実務経験教員対面
YBK1122	平面構成演習	2	2.0	2	春AB	金5,6	大友 邦子	平面的表現における形・色彩・図案表現・画面構成の取り扱いを学ぶ。アプローチの異なる実践的な課題を通して平面造形の総合的表現力の習得を目指す。	人数制限あり 実務経験教員対面
YBK1132	立体構成演習	2	2.0	2	秋AB	金5,6	上浦 佑太	造形表現に共通する要素を、形態・材料・技法の各方面から研究し、主に抽象形態を利用した制作を通じて立体的な構成力を養う。	実務経験教員対面
YBK1211	造形心理学	1	1.0	2	秋AB	火2	山本 早里	造形創作および鑑賞の手がかりとして重要な感覚・知覚心理学的知見に関して、視覚を中心に講義する。また、環境心理学にも触れる。	実務経験教員対面
YBK1242	プリントテキスタイル演習	2	1.0	3	秋AB	金2集中	大友 邦子	大判のパターンデザイン図案から版下フィルムおよびシルクスクリーン版を作成(乳剤塗布、感光)する。これを用いて手捺染による4Mのプリントテキスタイルを制作する。	実務経験教員対面 人数制限あり。「パターンデザイン演習」を合わせて履修することを要件とする。2023年度までの「プリントデザイン演習」に相当、旧科目履修者履修不可。
YBK1252	パターンデザイン演習	2	1.0	3	春AB	金4集中	大友 邦子	図案表現としてのドローイングスキルを身につけ、大判のリポートのあるパターンデザインのための画面構成能力を習得する。原則1色刷りのプリントテキスタイルへの展開を想定したデザインを制作する。	実務経験教員対面 2023年度までの「平面構成総合演習」に相当、旧科目履修者履修不可。
YBK1412	色彩構成演習Ⅰ	2	1.0	2	春AB	木2	山本 早里	色彩の科学的システムと感覚的側面からの基礎的な演習を行い、色彩の感情効果とその応用を習得する。	実務経験教員対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBK1422	色彩構成演習II	2	1.0	2	秋AB	木2	山本 早里	色彩の科学的システムと感覚的側面からの応用的な演習を行い、色彩計画の手法を習得する。環境色彩に関する演習もグループ作業によって行う。	実務経験教員 対面
YBK1522	造形実験演習I	2	1.0	3	春AB	月5	上浦 佑太	素材の選択や扱い方に着目して実験的姿勢で表現の可能性を探究する展開力を身につける。	実務経験教員 対面
YBK1532	造形実験演習II	2	2.0	3	秋AB	月5, 6 集中	上浦 佑太	素材の選択や扱い方に着目して設定されたテーマのもと各自表現の開拓を試みる。	実務経験教員 対面
YBK9017	構成領域研究I	7	1.0	2	通年	随時	山本 早里, 大友邦子, 上浦 佑太	構成領域における授業課題の成果物を発表する機会を設け、プレゼンテーション力を養うと共に、自己の研究テーマを探る。	対面(オンライン併用型)
YBK9027	構成領域研究II	7	1.0	3	春ABC	随時	山本 早里, 大友邦子, 上浦 佑太	構成領域において、各自が設定したテーマに基づいて制作実践および理論研究を進め、その成果を作品やプレゼンボード、レポートなどにまとめる。	対面
YBK9037	構成領域特別演習I	7	1.0	3	秋ABC	随時	山本 早里, 大友邦子, 上浦 佑太	構成領域において、各自が設定したテーマに基づいて制作実践および理論研究を進め、その成果を作品やプレゼンボード、レポートなどにまとめる。	・構成領域を希望する学生 ・いずれかの領域研究I, II(構成領域のものが望ましい)を履修済で、専門科目(YBH, YBJ, YBK, YBL)を10単位程度取得していることが望ましい。事前に担当教員に相談する事。 対面(オンライン併用型) ・TOEICR IPテストの受験必須 ・自己達成度評価をおこなうこと。
YBK9047	構成領域特別演習II	7	1.0	4	春ABC	随時	山本 早里, 大友邦子, 上浦 佑太	構成領域における卒業研究の指導を行う。	構成領域の学生に限る 対面
YBK9057	構成領域特別演習III	7	1.0	4	秋ABC	随時	山本 早里, 大友邦子, 上浦 佑太	構成領域における卒業研究の指導を行う。	構成領域の学生に限る 対面(オンライン併用型) 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBK9918	卒業研究A(構成領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	山本 早里, 上浦佑太, 大友 邦子	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得点が30単位以下であること。 対面
YBK9928	卒業研究B(構成領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	山本 早里, 上浦佑太, 大友 邦子	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得点が30単位以下であること。 対面(オンライン併用型)

専門科目(ビジュアルデザイン領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBL0602	学外演習(ビジュアルデザイン領域)	2	1.0	3	通年	随時	原 忠信, 田中 佐代子, 山本 美希, マクラウド ギャラリー ロデリック	美術館、博物館、工房、各種企業などを訪ねて見学・演習を行う。	実務経験教員 対面
YBL1412	広告デザイン演習	2	1.0	3・4	秋AB	水2	田中 佐代子	広告デザインに必要な知識、技術、表現力を、演習課題を通して学ぶ。	実務経験教員 対面
YBL1512	ブランディングデザイン演習	2	2.0	3・4	秋ABC	集中	原 忠信	実践的な制作課題を通じてブランディングデザインの方法と技術を学ぶ。	初回ガイダンスに必ず参加すること。「ビジュアルデザイン演習A」「ビジュアルデザイン演習B」「ビジュアルデザインシンキング」を履修済の学生に限る。 実務経験教員 対面
YBL1701	画像論	1	1.0	2・3	秋AB	月4	山本 美希, マクラウド ギャラリー ロデリック	画像(絵・ピクチャ)の特質、それによる表現・伝達の意義・可能性について、事例を紹介しつつ考える。	半分は英語で授業。芸術専門学群生に限る。芸術専門学群の交換留学生が受講可能。 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
YBL1712	コンテンポラリー・フォトグラフィ演習	2	2.0	3	秋AB	火2, 3	マクラウド ギャラリー ロデリック	アナログとデジタルフォトメディアによる写真撮影への現代的なアプローチを模索する。写真プロセスの知識を身につけ、関心のあるテーマまたはトピックについてのフォトプロジェクトを制作します。	英語で授業。 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBL1722	ナラティブイラストレーション演習	2	2.0	2	春AB	火3, 4		複数の画像の連続によって内容を伝達・表現するナラティブイラストレーションについて課題制作を通して学ぶ。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBL1732	アートブック演習	2	2.0	2	春AB	火3, 4	山本 美希	本の物質性に注目し、その機能と形態を拡張する造形表現を課題制作を通して学ぶ。	西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面
YBL1742	製本演習	2	1.0	3	秋A	木5, 6	山本 美希	洋本ハードカバーなどの造本の基礎について、課題制作を通して学ぶ。	実務経験教員 対面
YBL1902	ビジュアルデザインシンキング	2	2.0	2	春AB	木5, 6 集中	原 忠信	ビジュアルデザインの実践に必要な発想法やデザイン方法について、ワークショップ・ディスカッション・プレゼンテーションなど参加型の授業にて学習する。	人数制限あり(40名) 実務経験教員 対面
YBL2032	ビジュアルデザイン演習A	2	1.0	2	春AB	金3	田中 佐代子	ポスターや冊子表紙のデザインやイラストレーション課題を通して、ビジュアルデザインの基本を習得する。	実務経験教員 対面
YBL2042	ビジュアルデザイン演習B	2	1.0	2	秋AB	金3	マクラウド ギャリー ロデリック、サカイ ロドリゲス オスカル エデュアルド	ビジュアルデザインにおいて、アイデアをカタチにするための方法を実践的課題を通して学ぶ。	英語で授業。 実務経験教員 対面
YBL2112	エディトリアルデザイン演習	2	1.0	3・4	春AB	水2	田中 佐代子	エディトリアルデザインに必要な知識、技術、表現力を、演習課題を通して学ぶ。	実務経験教員 対面
YBL2502	グラフィックデザイン特別演習	2	1.0	3・4	秋ABC	随時	マクラウド ギャリー ロデリック	学外からデザイナー等を講師として招き、実践的活動を踏まえたグラフィックデザインの発想、制作、評価などについて学ぶ。	英語で授業 西暦偶数年度開講。 実務経験教員 オンライン(同時双方向型)
YBL2912	パッケージデザイン演習	2	1.0	3・4	春B	火5, 6	原 忠信	実践的な制作課題を通じてパッケージデザインの方法と技術を学ぶ。	「ビジュアルデザイン演習A」「ビジュアルデザイン演習B」「ビジュアルデザインシンキング」を履修していること。 実務経験教員 対面
YBL5302	サイエンスビジュアライゼーション演習	2	1.0	2・3	春C夏季休業中	集中	田中 佐代子, 大庭 良介, 藏満 司夢, 八木 勇治, 小林 麻己人, 岡崎 実那子	サイエンスを視覚的・効果的に表現することを目的とする。グループ別に課題が出題され、最終的にイラスト作品1点を提出する。	人数制限あり(25名)。 HE20142と同一。 オンライン(同時双方向型)
YBL9017	ビジュアルデザイン領域研究I	7	1.0	2	通年	随時	原 忠信, 山本 美希, マクラウド ギャリー ロデリック, 田中 佐代子	ビジュアルデザイン領域における授業課題の成果物を発表する機会を設け、プレゼンテーション力を養うと共に、自己の研究テーマを探る。	実務経験教員 対面
YBL9027	ビジュアルデザイン領域研究II	7	1.0	3	春ABC	随時	原 忠信, 山本 美希, マクラウド ギャリー ロデリック, 田中 佐代子	ビジュアルデザイン領域において、各自が設定したテーマに基づいて制作実践および理論研究を進め、その成果を作品やプレゼンボード、レポートなどにまとめる。	2021年度より開講 実務経験教員 対面
YBL9037	ビジュアルデザイン領域特別演習I	7	1.0	3	秋ABC	随時	原 忠信, 山本 美希, マクラウド ギャリー ロデリック, 田中 佐代子	ビジュアルデザイン領域において、各自が設定したテーマに基づいて制作実践および理論研究を進め、その成果を作品やプレゼンボード、レポートなどにまとめる。	・ビジュアルデザイン領域を希望する学生 ・いずれかの領域研究I, II(ビジュアルデザイン領域のものが望ましい)を履修済で、専門科目(YBH, YBJ, YBK, YBL)を10単位程度取得していることが望ましい。事前に担当教員に相談する事。 実務経験教員 対面(オンライン併用型) ・TOEICR IPテストの受験必須 ・自己達成度評価をおこなうこと。
YBL9047	ビジュアルデザイン領域特別演習II	7	1.0	4	春ABC	随時	原 忠信, 山本 美希, マクラウド ギャリー ロデリック, 田中 佐代子	ビジュアルデザイン領域における卒業研究の指導を行う。	ビジュアルデザイン領域の学生に限る 実務経験教員 対面
YBL9057	ビジュアルデザイン領域特別演習III	7	1.0	4	秋ABC	随時	原 忠信, 山本 美希, マクラウド ギャリー ロデリック, 田中 佐代子	ビジュアルデザイン領域における卒業研究の指導を行う。	ビジュアルデザイン領域の学生に限る 実務経験教員 対面 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBL9918	卒業研究A(ビジュアルデザイン領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	原 忠信, 山本 美希, マクラウド ギャリー ロデリック, 田中 佐代子	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBL9928	卒業研究B(ビジュアルデザイン領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	原 忠信, 山本 美希, マクラウド ギャリー ロドリック, 田中 佐代子	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面

専門科目(情報・プロダクトデザイン領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBN0101	人間工学	1	1.0	2	秋AB	金3	小山 慎一	デザインの最終的な対象は人間である。人間の基本的性質である、生体構造の特徴、生体や行動計測の方法、生理反応の特徴や環境と人間のインタラクション、などに関して講述し、デザインの基本である人間情報の取り扱い方を学ぶ。	デザイン及び芸術表現を学ぶ学生を対象とするものであり、生理学、解剖学、医学などを専門とする学生は対象としない。 実務経験教員 対面
YBN0112	デザイン演習1-A	2	1.0	2	春A	木4,5	包 索米亜	情報・プロダクトデザイン領域の基礎について、課題を通して演習を行う。	実務経験教員 対面(オンライン併用型)
YBN0212	デザイン演習2-A	2	1.0	2	春B	木4,5	伊藤 節, 包 索米亜	情報・プロダクトデザイン領域の基礎について、課題を通して演習を行う。	実務経験教員 オンライン(同時双方向型)
YBN0512	デザイン演習5-A	2	1.0	2	秋B	木4,5	李 昇姫	情報・プロダクトデザイン領域の基礎について、課題を通して演習を行う。	実務経験教員 対面
YBN0612	デザイン演習6-A	2	1.0	2	秋C	木4,5	小山 慎一	情報・プロダクトデザイン領域の基礎について、課題を通して演習を行う。	実務経験教員 対面
YBN13A2	情報・プロダクトデザイン演習A	2	2.0	3	春A	金4,5 集中	山田 博之	製品のプロトタイプングを重視した課題を設定し、要件を満たす実働のプロトタイプを作成する。プロトタイプングの機材利用のために創房を利用する。	2025年度までの情報・プロダクトデザイン演習6相当の科目 G059792と同一。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
YBN13B2	情報・プロダクトデザイン演習B	2	2.0	3	春B	金4-6 集中	山田 博之	コミュニケーションをキーワードとした課題を設定し、それらをプレゼンテーションするためのモックアップ、プロトタイプ、プレゼンテーションマテリアルの作成を行い、最終日にプレゼンテーションを行う。	2025年度までの情報・プロダクトデザイン演習1相当の科目 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
YBN13C2	情報・プロダクトデザイン演習C	2	2.0	3	春C	金4-6 集中	包 索米亜	情報・プロダクトデザインに関わる二つの特定課題を設定し、そのうち一つを学生自身が選び、アイデアスケッチ、プロトタイプ制作、実働モデル改善などのデザインプロセスを実践する。毎週のプレゼンテーションを実施し、フィードバックをもらい、ブラッシュアップをしながらデザイン制作を行う。	実務経験教員 対面(オンライン併用型) 2025年度までの情報・プロダクトデザイン演習3相当の科目。 授業は主に日本語で行うが、要望によって英語も併用する。
YBN13D2	情報・プロダクトデザイン演習D	2	1.0	3	秋A	金4,5	李 昇姫	情報、プロダクトデザインに関わる特定課題に基づく演習。	2025年度までの情報・プロダクトデザイン演習4相当の科目 実務経験教員 対面
YBN13E2	情報・プロダクトデザイン演習E	2	1.0	3	秋B	金4,5	小山 慎一	卒業論文執筆のためのライティング(Writing)演習。卒業研究では文献調査に基づいて問題を提起し、仮説を立て、検証するための実験・調査を行い、結果を分析した上で先行研究および仮説と関連付けて批判的・創造的に考察し、成果を論文としてまとめる能力が求められる。授業では論文執筆に関する演習を行うことによってこれらの能力の修得を目指す。	実務経験教員 対面 2025年度までの情報・プロダクトデザイン演習4相当の科目
YBN13F2	情報・プロダクトデザイン演習F	2	2.0	3	通年	応談	内山 俊朗	本授業は、「つくる」「見せる」「対話する」プロセスを通じて、アイデアや作品を社会と接続する体験を目的とする。新規アイデアのプロトタイプングから始めても、既存の作品・研究・プロジェクトをブラッシュアップしてもよい。最終的にMaker Faire Tokyoなどの公開展示イベントを念頭に、作品実装・プレゼンテーション・展示運営を実践的に学ぶ。	実務経験教員 対面 2025年度までの情報・プロダクトデザイン演習2相当の科目
YBN2104	デザインシンキング	4	2.0	2・3	春C 夏季休業中	水4,5 集中	榎原 瑞穂, 内山 俊朗	この授業では、設定された課題テーマに対し、デザインシンキングのプロセスを通じてグループワークおよび個人ワークを行います。最終的には、各自が一つのデザイン提案を行います。テーマは「未来の移動体験」とし、ユーザー像、提供価値、シーンイメージなどをアウトプットします。	教室: 総合研究棟D116 2020年度までの「情報システムデザイン学」に相当。 西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
YBN2234	UI/UXデザイン	4	1.0	2・3	春C	火4,5	内山 俊朗	さまざまなサービスや製品が溢れ、消費者のリテラシーが高まっている現代において、消費者の潜在的欲求に沿ったデザインは必須になっている。ユーザーエクスペリエンスデザインでは、消費者がサービスや製品を使用する前後までも含めたストーリーを明確にし、そのコンテキストに合ったデザインを進めていくための方法を簡単な実践も取り入れながら学ぶ。	芸術専門学群生に限る。 西暦偶数年度開講。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
YBN2244	情報伝達デザイン	4	1.0	2・3				ポートフォリオやポスターなどで研究成果を伝える際に、より効果的かつ正確に情報を伝えることができる、レイアウト・デザインの基本的な知識や技術を、DTPアプリケーションによる演習課題の制作を通して学ぶ。	芸術専門学群の2年次以上で情報・プロダクト・環境・建築デザイン領域志望者に限る。西暦奇数年度開講。実務経験教員対面
YBN2301	感性デザイン学と融合科学	1	1.0	2	春AB	火3	李 昇姫	感性は、個人の異なる経験に基づいた心の働きであり、感情、感覚、脳活動、心理など人間の行動に関わる認知プロセスによって表現される。感性科学を基盤にした脳活動、生態情報、工学システムを応用した融合科学の国際的なジャーナル研究事例を紹介する。感性の概念は、Kanseiという学術的に国際化されており、グローバルな学術分野として発展する重要な意味を考え、最先端の技術社会における人間の価値観と「思いやり」を通した未来のデザインのあり方を考える。	2011年度までの「デザインと認知科学」に相当。要望があれば英語で授業。実務経験教員対面(オンライン併用型)
YBN2434	プロトタイピング	4	1.0	2	春C	金3,4	山田 博之	3Dプリンタを用いた製品プロトタイピングを主体とし、電子工作、プログラミングを組み合わせた、実働するモデルの製作を行う。	芸術専門学群生に限る。2021年度までの「プロトタイピング基礎」に相当。3Dモデリング、プログラミングのためにパソコンを持参すること。実務経験教員対面(オンライン併用型)
YBN2514	プログラミング基礎	4	1.0	2	秋B	金4,5	山田 博之	AIを活用したプログラミング環境の構築と具体的なコーディング方法を基盤として、ユーザーインタフェースのプロトタイピングやゲームの制作に必要なプログラミングの基礎を学び、インタラクティブなプログラムを作成する。課題の制作には Javascript を用いる。	芸術専門学群生に限る。Google Chromeと Visual Studio Code をインストール済みのパソコンを持参すること。実務経験教員対面(オンライン併用型)
YBN2524	プログラミング応用	4	1.0	2	秋C	金3,4	山田 博之	AIを活用したプログラミングを通してオブジェクト指向プログラミングの基礎を学び、Webブラウザ上で動作するインタラクティブなゲームプログラムの作成を行う。課題の制作には Javascript を用いる。	芸術専門学群生に限る。「プログラミング基礎」を履修済みのこと。Google Chrome と Visual Studio Code をインストール済みのパソコンを持参すること。実務経験教員対面(オンライン併用型)
YBN2531	感性情報とメディアインタラクション	1	1.0	2	春AB	火4	李 昇姫	私たちの経験は記憶に残され、新しい刺激に応じながら融合し、より意味のある情報として進化していく。本授業では人間の感性の重要性を再認識し、感性の働きを情報として捉え新しい発想に応用する。認知科学と心理学の理論を学び、人間の潜在的な行動を観察しながら、人間と情報との関わりを多様な状況に基づいて考える。専門性より、視点の多様性を重視し、経験につながる五感と感情、感性に働きかける要素を全て含んだダイナミックな表現方法を学ぶ。(Iでは、基礎的な理論と方法を学ぶ。IIでは人間の行動を観察し、メディアとして応用したインタラクションを学ぶ。)	2020年度までの「情報メディア論I」に相当。旧科目履修者履修不可。総合研究棟D117で行う。要望があれば英語で授業。実務経験教員対面(オンライン併用型)
YBN2534	感性情報とメディアインタラクション演習	4	1.0	2	秋AB	火4	李 昇姫	私たちの経験は記憶に残され、新しい刺激に応じながら融合し、より意味のある情報として進化していく。本授業では人間の感性の重要性を再認識し、感性の働きを情報として捉え新しい発想に応用する。認知科学と心理学の理論を学び、人間の潜在的な行動を観察しながら、人間と情報との関わりを多様な状況に基づいて考える。専門性より、視点の多様性を重視し、経験につながる五感と感情、感性に働きかける要素を全て含んだダイナミックな表現方法を学ぶ。(Iでは、基礎的な理論と方法を学ぶ。IIでは人間の行動を観察し、メディアとして応用したインタラクションを学ぶ。)	2020年度までの「情報メディア論II」に相当。旧科目履修者履修不可。総合研究棟D117で行う。要望があれば英語で授業。実務経験教員対面
YBN2621	デザインイノベーション論	1	1.0	2・3	春AB	金3	山田 博之	デザインにおけるイノベーションについて事例を通して学習し、プロジェクトマネジメントの観点からデザインを行うためのスキルを養う。	実務経験教員対面
YBN2641	デザイン評価と実験研究	1	1.0	3	春AB	火4	包 索米亜	デザインを評価するには何をすれば良いのかを討論するために、実験の設計方法、心理指標、行動指標、生理指標に基づいたデザイン評価の方法について講義する。	2022年度までの「デザイン評価論」と一部相当。実務経験教員対面 授業は主に日本語で行うが、要望によって英語も併用する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
YBN2651	デザイン解析論: データサイエンスと統計解析	1	1.0	3	秋AB	月4集中	包 索米亜	デザインは、単に直観による表現に留まらず、デザインによる感性価値や社会価値の向上をも達成しなくてはならない。そこで、デザイン情報の体系的な理解のために、データとは何か、調査・計測による客観的なデータの捉え方、データの分析や考察するための手法について学び、デザインプロセスにとって必須である、価値創造の考え方の基盤を養い、データ解析の応用練習を行う。	2022年度までの「デザイン解析論基礎」と「デザイン解析論応用」の内容に相当。実務経験教員対面 授業は主に日本語で行うが、要望によって英語も併用する。
YBN2661	デザイン材料技術論	1	1.0	2	秋BC	水6	伊藤 節	プロダクトデザインにおける材料と生産工法にフォーカスし、プラスチック、金属、ガラス、木、紙と石など、多様な材料と工法の現状について講義する。	2022年度までの「生産システムデザイン論」の内容に相当。実務経験教員オンライン(オンデマンド型) 授業は主に日本語で行うが、要望によって英語も併用する。
YBN2902	ダイナミックインタラクションデザイン演習	2	1.0	2	秋AB	火3	李 昇姫, 村上 史明	情報・プロダクト・メディアアートを融合した、オブジェによるインタラクション設計の基礎を習う。センサによるハイテック電子技術や形の素材の仕組みを利用したローテックによるインタラクション設計を同時に行う。	要望があれば英語で授業対面 ミュージーザガーデン及び5C203で実施
YBN2933	インターンシップA(情報・プロダクトデザイン)	3	1.0	4	秋C	応談	内山 俊朗	情報・プロダクトデザインに関する企業やデザイン事務所等において、その専門とするデザインプロセスを体験・習得する。履修する場合には、担当教員にあらかじめ相談すること。	実務経験教員対面 実習やインターンシップは、個々の学生が学外で実施する。学内の報告会は、対面で実施する。
YBN2943	インターンシップB(情報・プロダクトデザイン)	3	1.0	4	秋C	応談	内山 俊朗	情報・プロダクトデザインに関する企業やデザイン事務所等において、その専門とするデザインプロセスを体験・習得する。履修する場合には、担当教員にあらかじめ相談すること。	実務経験教員対面 実習やインターンシップは、個々の学生が学外で実施する。学内の報告会は、対面で実施する。
YBN3372	デザイン系企業研究	2	3.0	3	秋AB	火4-6	内山 俊朗	情報・プロダクトデザインに関する企業について、情報収集、ディスカッションを行う。また、ポートフォリオを作成する。	総合研究棟D211で行う。 実務経験教員対面
YBN9017	情報・プロダクトデザイン領域研究I	7	1.0	2	通年	木1,2 随時	小山 慎一, 李 昇姫, 内山 俊朗, 山田 博之, 包 索米亜	情報・プロダクトデザイン領域における年次ごとの学習計画についてガイダンスをと演習指導を行う。	実務経験教員対面(オンライン併用型)
YBN9027	情報・プロダクトデザイン領域研究II	7	1.0	3	春ABC	木1,2 随時	小山 慎一, 李 昇姫, 内山 俊朗, 山田 博之, 包 索米亜	情報・プロダクトデザイン領域における年次ごとの学習計画についてガイダンスをと演習指導を行う。	実務経験教員対面(オンライン併用型)
YBN9037	情報・プロダクトデザイン領域特別演習I	7	1.0	3	秋ABC	木1,2 随時	小山 慎一, 李 昇姫, 内山 俊朗, 山田 博之, 包 索米亜	情報・プロダクトデザイン領域における卒業研究に向けた研究計画の指導を行う。	・情報・プロダクトデザイン領域を希望する学生 ・いずれかの領域研究I, II(情報・プロダクトデザイン領域のものが望ましい)を履修済で、専門科目(YBN, YBP, YBQ)を10単位程度取得していることが望ましい。事前に担当教員に相談する事。 実務経験教員対面(オンライン併用型) ・TOEICR IPテストの受験必須 ・自己達成度評価をおこなうこと
YBN9047	情報・プロダクトデザイン領域特別演習II	7	1.0	4	春ABC	木1,2 随時	小山 慎一, 李 昇姫, 内山 俊朗, 山田 博之, 包 索米亜	情報・プロダクトデザイン領域における卒業研究の指導を行う。	情報・プロダクトデザイン領域の学生に限る 実務経験教員対面(オンライン併用型)
YBN9057	情報・プロダクトデザイン領域特別演習III	7	1.0	4	秋ABC	木1,2 随時	小山 慎一, 李 昇姫, 内山 俊朗, 山田 博之, 包 索米亜	情報・プロダクトデザイン領域における卒業研究の指導を行う。	情報・プロダクトデザイン領域の学生に限る 情報・プロダクトデザイン領域のインターンシップを1科目以上履修していること 実務経験教員対面(オンライン併用型) 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBN9918	卒業研究A(情報・プロダクトデザイン領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	小山 慎一, 李 昇姫, 内山 俊朗, 山田 博之, 包 索米亜	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得点が30単位以下であること。 実務経験教員対面(オンライン併用型)
YBN9928	卒業研究B(情報・プロダクトデザイン領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	小山 慎一, 李 昇姫, 内山 俊朗, 山田 博之, 包 索米亜	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得点が30単位以下であること。 実務経験教員対面(オンライン併用型)

専門科目(環境デザイン領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBP0222	デザイン演習2-B	2	1.0	2	春B	木4,5	菅野 圭祐	都市公園において周辺景観と応答した小建築を設計する。	実務経験教員対面
YBP0262	デザイン演習6-B	2	1.0	2	秋C	木4,5	藤田 直子	都市または農山漁村における野外空間や施設にかかわる構想・計画・設計に関する一連の思考方法、表現手法の習得	実務経験教員対面
YBP0332	環境デザイン演習A	2	3.0	3	春AB	金4-6	野中 勝利	文化施設の建築設計を含む都市公園のデザインに関する計画・設計の演習を行う。	実務経験教員対面
YBP0342	環境デザイン演習B	2	3.0	3	春C夏季休業中	金4-6集中	菅野 圭祐	エコミュージアムの拠点施設に関する計画・設計の演習を行う。	実務経験教員対面
YBP0352	環境デザイン演習C	2	3.0	3	秋AB	金4-6	橋本 剛	自然環境と調和した建築物(公共施設)の計画と設計の演習を行う。具体的な地域を設計対象として取り上げ、その地域の現状・課題・環境デザインのポテンシャルを整理・分析し、自然環境と調和した建築物(公共施設)の計画・設計の提案を行う。	実務経験教員対面
YBP2831	地域まちづくり論	1	2.0	2	春AB	月3,4	菅野 圭祐	地域コミュニティが主導して建築・都市・地域の空間的・社会的な諸課題に取り組むまちづくりについて、どのような方法、プロセス、体制で住環境の改善や地域のマネジメントが進められてきたのか、国内外の活動事例をもとに、その理論と実践を学ぶ。	実務経験教員対面
YBP2922	学外演習(環境デザイン)	2	1.0	3	通年	随時	野中 勝利, 藤田 直子, 橋本 剛, 菅野 圭祐	学外の著名な環境・建築デザインの現場を訪ね、見学を行い、デザインの過程・現状・文化などを体験的に学ぶ。	実務経験教員対面
YBP3301	都市デザイン論	1	2.0	3	秋AB	木4,5	野中 勝利, 真野 洋介	都市や建築にかかわる様々な課題が、近代の都市づくりの中でどのような過程を経てきたのか、そして現代における建築・都市空間の計画とデザインの方法と技術について、国内外の事例の解説を通して、その理論と実践とを講述する。	実務経験教員対面 2027年度限り
YBP3401	ランドスケープデザイン論	1	2.0	2	秋AB	月5,6	藤田 直子	ランドスケープデザインの系譜を学ぶとともに、最新の国内・海外におけるランドスケープデザインやプランニングの実践例を知ること、自然域から都市域まで様々な場におけるランドスケープの構造・機能・変化過程を適切に理解しデザインする理論を修得する。	対面
YBP9017	環境デザイン領域研究I	7	1.0	2	通年	木1,2随時	野中 勝利, 藤田 直子, 橋本 剛, 菅野 圭祐	環境デザイン領域における年次ごとの学習計画についてガイダンスと演習指導を行う。	実務経験教員対面
YBP9027	環境デザイン領域研究II	7	1.0	3	春ABC	木1,2随時	野中 勝利, 藤田 直子, 橋本 剛, 菅野 圭祐	環境デザイン領域における年次ごとの学習計画についてガイダンスと演習指導を行う。	実務経験教員対面
YBP9037	環境デザイン領域特別演習I	7	1.0	3	秋ABC	木1,2随時	野中 勝利, 藤田 直子, 橋本 剛, 菅野 圭祐	環境デザイン領域における卒業研究に向けた研究計画の指導を行う。	・環境デザイン領域学生を希望する学生。 ・いずれかの領域研究I, II(環境デザイン領域のものが望ましい)を履修済で、専門科目(YBN, YBP, YBQ)を10単位程度取得していることが望ましい。事前に担当教員に相談する事。 実務経験教員対面 ・TOEICR IPテストの受験必須。 ・自己達成度評価をおこなうこと。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBP9047	環境デザイン領域特別演習II	7	1.0	4	春ABC	木1,2 随時	野中 勝利, 藤田 直子, 橋本 剛, 菅野 圭祐	環境デザイン領域における卒業研究の指導を行う。	環境デザイン領域の学生に限る 実務経験教員 対面
YBP9057	環境デザイン領域特別演習III	7	1.0	4	秋ABC	木1,2 随時	野中 勝利, 藤田 直子, 橋本 剛, 菅野 圭祐	環境デザイン領域における卒業研究の指導を行う。	環境デザイン領域の学生に限る 実務経験教員 対面 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBP9918	卒業研究A(環境デザイン領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	野中 勝利, 藤田 直子, 橋本 剛, 菅野 圭祐	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面
YBP9928	卒業研究B(環境デザイン領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	野中 勝利, 藤田 直子, 橋本 剛, 菅野 圭祐	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得分が30単位以下であること。 実務経験教員 対面

専門科目(建築デザイン領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBQ0212	デザイン演習1-B	2	1.0	2	春A	木4,5	山田 協太	環境・建築の各デザイン分野の基礎について、住宅の設計演習を通じて学ぶ。	実務経験教員 対面
YBQ0252	デザイン演習5-B	2	1.0	2	秋B	木4,5	花里 俊廣	環境・建築の各デザイン分野の基礎について、小規模施設の設計演習を通じて学ぶ。	実務経験教員 対面
YBQ0342	建築デザイン演習A	2	3.0	3	春AB	金4-6	花里 俊廣	集合住宅に関する計画・設計の演習を行う。	実務経験教員 対面
YBQ0352	建築デザイン演習B	2	3.0	3	春C夏季 休業中	金4-6	山田 協太	フィールドワークに基づき計画・設計の演習を行う。	日本語と英語を併用します。 実務経験教員 対面
YBQ0362	建築デザイン演習C	2	3.0	3	秋AB	金4-6	加藤 研	公共施設に関する計画・設計の演習を行う。	実務経験教員 対面
YBQ0372	建築デザイン演習D	2	3.0	3	秋C	金4-6 集中	杉崎 広空	ミュージアムやギャラリー等の設計とかわる演習。	実務経験教員 対面
YBQ0411	世界建築史	1	2.0	3	春AB	水1,2	山田 協太	先史時代から近世に至る建築の展開をグローバルな視点で捉える。ヴァナキュラー建築、イスラム、ヒンドゥー・仏教、中華、日本、のそれぞれの建築の展開を時系列に沿って学ぶとともに、地域と文化を横断する建築の同時代的運動関係を学ぶ。建築の歴史を学ぶことにより、現代社会に求められる建築文化の新たな視点を見出す。	実務経験教員 対面
YBQ0821	建築材料論	1	2.0	2・3	春AB	水5,6	中田 清史, 加藤 研	建築物を構成する構造材料(コンクリート、木材、鋼材)、仕上げ材料、機能性材料の特性及び使用部位において要求される機能・性能とそれらに呼応する性質を学習する。また、建築材料に関連する建築生産行為全般の最新の話題を取り上げ、建築材料に関する幅広い知識を習得する。	受講者数の上限を70名とする受講希望者数が上限を越えた場合は受講できないことがある 西暦偶数年度開講。 対面
YBQ2922	学外演習(建築デザイン)	2	1.0	3	秋ABC	随時	花里 俊廣, 加藤 研, 山田 協太, 岩田 祐佳梨, 杉崎 広空	学外の著名な環境・建築デザインの現場を訪ね、見学を行い、デザインの過程・現状・文化などを体験的に学ぶ。	実務経験教員 対面
YBQ3601	建築設計論	1	2.0	3	春AB	月5,6	岩田 祐佳梨	住宅論、建築論、都市論を題材に、都市や周辺環境への観察を、いかに建築として定着させるかを、建築設計論として考察する。	実務経験教員 対面
YBQ3811	建築環境計画論	1	2.0	3	春AB	火4,5	橋本 剛	建築・都市における熱・空気環境、光・視環境、音環境、水環境を対象とした環境計画を行うために必要な基礎的事項を取得し、建築設計・都市計画に応用できるようにする。	YBQ3831建築設備計画演習と併せて履修することが望ましい。 実務経験教員 対面
YBQ3831	建築設備計画演習	1	2.0	3	秋AB	火4,5	橋本 剛	建築・都市における熱・空気環境、光・視環境、水環境と建築設備(空調設備、照明設備など)との関係について、演習により基礎的事項を習得し、建築設計・都市計画に応用できるようにする。	YBQ3811建築環境計画論と併せて履修することが望ましい。芸術専門学群の学生に限る。 対面
YBQ4041	建築通史	1	1.0	2	春学期	火	杉崎 広空	古代から近代に至る西洋建築の歴史を講述する。	実務経験教員 対面
YBQ4051	現代デザイン論	1	1.0	2	秋ABC	集中	杉崎 広空	日本の近現代のデザイン運動について講述する。	実務経験教員 対面(オンライン併用型)
YBQ4061	建築計画論	1	2.0	2	春AB	火3,4	花里 俊廣	建築を計画するのに必要な知識を得るため、建物や場所がどのように機能し、意味を持つのか、人間の行動や社会的側面から考察する。特に、現代の住宅・集合住宅、インテリア、住宅の歴史などに焦点を絞って講述する。	実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
YBQ4201	建築構法論	1	2.0	3	秋AB	月4,5	加藤 研	建築空間を実現する上での様々な構法について、代表的な構法である木構造、鉄骨構造、鉄筋コンクリート構造を取り上げ、それぞれの構造材料の特性と空間架構の可能性について講述する。特に現代において様々に試みられている新しい構法の事例についても紹介する。	実務経験教員 対面
YBQ4202	建築構法論演習	2	1.0	3	春C	月3,4	加藤 研	詳細図の製図を行い、構造・屋根・床・壁・開口部など建築物の各部ディテールの設計方法を習得する。	建築設計を行う授業を履修済で、製図の経験があることが望ましい。 実務経験教員 対面
YBQ5011	構造力学	1	2.0	2・3				建築物の構造解析の基本となる、力のつり合い、反力、静定構造物・不静定構造物の応力、変形、断面の性質、応力度、ひずみ度、座屈の概念および計算方法を学ぶ。	受講者数の上限を70名とする受講希望者数が上限を越えた場合は受講できないことがある 西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBQ5021	構造計画	1	2.0	2・3				建築種別、構造形式、力の流れ、荷重等を考慮して建築構造計画を立案できる基本的知識を習得させる。実際に構造計画を立て構造計算を行う。	受講者数の上限を70名とする受講希望者数が上限を越えた場合は受講できないことがある 西暦奇数年度開講。 実務経験教員 対面
YBQ9017	建築デザイン領域研究I	7	1.0	2	通年	木1,2 随時	花里 俊廣, 山田 協太, 加藤 研, 岩田 祐佳梨, 杉崎 広空	建築デザイン領域特別ゼミに参加し、建築デザイン領域の研究と制作の広がり理解するとともに、建築デザイン領域における学習の方向を定める。	実務経験教員 対面
YBQ9027	建築デザイン領域研究II	7	1.0	3	春ABC	木1,2 随時	花里 俊廣, 山田 協太, 加藤 研, 岩田 祐佳梨, 杉崎 広空	建築デザイン領域特別ゼミに参加し、建築デザイン領域の研究と制作の広がり理解するとともに、建築デザイン領域における学習の方向を定める。	実務経験教員 対面
YBQ9037	建築デザイン領域特別演習I	7	1.0	3	秋ABC	木1,2 随時	花里 俊廣, 山田 協太, 加藤 研, 岩田 祐佳梨, 杉崎 広空	建築デザイン領域における卒業研究に向けた研究計画の指導を行う。	・建築デザイン領域を希望する学生に限る・いずれかの領域研究I, II (建築デザイン領域のものが望ましい)を履修済で、専門科目(YBN, YBP, YBO)を10単位程度取得していることが望ましい。事前に担当教員に相談する事(建築士受験資格の取得については、履修要覧を確認する事) 実務経験教員 対面 ・TOEICR IPテストの受験必須・自己達成度評価をおこなうこと
YBQ9047	建築デザイン領域特別演習II	7	1.0	4	春ABC	木1,2 随時	花里 俊廣, 山田 協太, 加藤 研, 岩田 祐佳梨, 杉崎 広空	建築デザイン領域における卒業研究の指導を行う。	建築デザイン領域の学生に限る 実務経験教員 対面
YBQ9057	建築デザイン領域特別演習III	7	1.0	4	秋ABC	木1,2 随時	花里 俊廣, 山田 協太, 加藤 研, 岩田 祐佳梨, 杉崎 広空	建築デザイン領域における卒業研究の指導を行う。	建築デザイン領域の学生に限る 実務経験教員 対面 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBQ9918	卒業研究A(建築デザイン領域)	8	3.0	4	春ABC	随時	花里 俊廣, 山田 協太, 加藤 研, 岩田 祐佳梨, 杉崎 広空	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得点が30単位以下であること。 実務経験教員 対面
YBQ9928	卒業研究B(建築デザイン領域)	8	3.0	4	秋ABC	随時	花里 俊廣, 山田 協太, 加藤 研, 岩田 祐佳梨, 杉崎 広空	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	卒業に必要な単位数の未修得点が30単位以下であること。 実務経験教員 対面

専門科目(共通)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
YBX0011	専門語学(英語)1	1	1.0	2 - 4	春AB	月6	サカイ ロドリゲス オスカル エデュアルド	Students will deepen their understanding of English by creating and presenting small art projects. Through writing and speaking assignments, students will enhance their ability to communicate ideas, analyze artwork critically, and engage with both their own and others' creative work.	This course is in English. 英語で授業。 対面を基本とする。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBX0021	専門語学(英語)2	1	1.0	2 - 4	秋AB	月6	サカイ ロドリゲス オスカル エデュアルド	Students will deepen their understanding of English by creating and presenting small art projects. Through writing and speaking assignments, students will enhance their ability to communicate ideas, analyze artwork critically, and engage with both their own and others' creative work.	This course is in English. 英語で授業。対面を基本とする。
YBX2001	絵画技法論	1	1.0	2	春AB	金1	仏山 輝美, 福満 正志郎, 山本 浩之	油彩画、アクリル画、日本画制作における諸技法と材料について解説する。	原則、洋画領域もしくは日本画領域に進級する予定の芸術専門学生を受講対象としている。 実務経験教員 対面
YBX2531	芸術解剖学-I	1	1.0	3・4	春AB	金1	足立 和隆, 山本 浩之	骨格系、筋系を中心に身体の形態や構造などについて述べるとともに、それらが体表からどのように観察され、実際の作例にどのように表現されているかについて解説する。	西暦偶数年度開講 西暦偶数年度開講。 対面
YBX2541	芸術解剖学 - II	1	1.0	3・4	秋AB	火6	足立 和隆, 山本 浩之	骨格系、筋系を中心に身体の形態や構造などについて述べるとともに、それらが体表からどのように観察され、実際の作例にどのように表現されているかについて解説する。	「芸術解剖学 - I」を履修済であること。西暦偶数年度開講。 対面
YBX2903	インターンシップ1(美術史、芸術支援、洋画、版画、日本画、彫塑、書)	3	1.0	3・4	通年	応談	山本 浩之, 直江 俊雄, 福満 正志郎, 田島 直樹, 川島 史也, 尾川 明穂, 武田 一文	インターンシップに参加し、芸術に関わる実践力を身につける。	対面
YBX2913	インターンシップ2(工芸、総合造形、構成、ビジュアルデザイン)	3	1.0	3・4	通年	応談	山本 浩之, 宮原 克人, 小野 裕子, 大友 邦子, 原 忠信, 山本 早里, 上浦 佑太, 齋藤 敏寿, マクラウド ギャラリー ロデリック, 東 弘一郎, 山本 美希, 村上 史明, 田中 佐代子, 勝川 夏樹	インターンシップに参加し、芸術に関わる実践力を身につける。	対面
YBX2923	インターンシップ3(情報・プロダクトデザイン、環境デザイン、建築デザイン)	3	1.0	3・4	通年	応談	山田 博之, 山田 協太, 菅野 圭祐	デザインに関する企業やデザイン事務所等において、その専門とするデザインプロセスを体験・習得する。履修する場合には、担当教員にあらかじめ相談すること。	実務経験教員 対面 実習やインターンシップは、個々の学生が学外で実施する。学内の報告会は、対面で実施する。
YBX3202	創造的復興:チャレンジ学外演習I	2	2.0	3	秋ABC	随時	原 忠信, 宮原 克人, 村上 史明, マクラウド ギャラリー ロデリック	芸術の視点から立案した地域再生に向けたプランを実施する。その中で、歴史・文化的な資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興に必要な視点や方法を経験的に習得する。	実務経験教員 対面
YBX3602	創造的復興:チャレンジ学外演習II	2	2.0	4	秋ABC	随時	原 忠信, 宮原 克人, 村上 史明, マクラウド ギャラリー ロデリック	芸術の視点から立案した地域再生に向けたプランを実施する。その中で、歴史・文化的な資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興に必要な視点や方法を経験的に習得する。	実務経験教員 対面
YBX3812	拡張表現スタジオ1-A	2	1.0	1	春C	金3, 4	原 忠信	欧文タイポグラフィの課題制作を通してデザインシステムの考え方や表現方法を学ぶ。	2019年度以降の入学者に限る。旧構成基礎演習の未修得者は、読み替え科目として履修可。 実務経験教員 対面
YBX3822	拡張表現スタジオ1-B	2	1.0	1	秋A	金3, 4	上浦 佑太	アクリル絵の具による平面構成やケント紙を使った立体構成などを通して、色・形の基本的なバランス感覚を養う。	実務経験教員 対面
YBX3832	拡張表現スタジオ1-C	2	1.0	1	秋B	金3, 4	宮原 克人	木材などの自然素材を用いた課題制作を通して、立体造形の表現方法を学ぶ。	人数制限あり 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
YBX3902	拡張表現スタジオ2	2	2.0	2	秋ABC	随時	村上 史明, 田中 佐代子, 山本 早里, 大友 邦子, 小野 裕子, 齋藤 敏寿, 原 忠信, 宮原 克人, 山本 美希, 勝川 夏樹, 上浦 佑太, マクラウド ギャリー ロデリック, 東 弘一郎	拡張表現スタジオのガイダンスとこれまでに各自が行ってきた制作・研究活動の作品や成果としてポートフォリオを作成する。	2019年度以降の入学者に限る。 実務経験教員 オンライン(オンデマンド型)
YBX3912	拡張表現スタジオ3	2	2.0	3	秋ABC	随時	村上 史明, 田中 佐代子, 山本 早里, 大友 邦子, 小野 裕子, 齋藤 敏寿, 原 忠信, 宮原 克人, 山本 美希, 勝川 夏樹, 上浦 佑太, マクラウド ギャリー ロデリック, 東 弘一郎	3年次までの研究成果として作品やプレゼンボード等を制作し、年度末に展覧会を実施する。会期中、VD, 工芸, 構成, 総合造形の4領域の教員が展示に対して講評する。	2019年度以降の入学者に限る。 実務経験教員 対面
YBX3932	拡張表現スタジオ4A	2	1.0	4	春ABC	随時	村上 史明, 田中 佐代子, 山本 早里, 大友 邦子, 小野 裕子, 齋藤 敏寿, 原 忠信, 宮原 克人, 山本 美希, 勝川 夏樹, 上浦 佑太, マクラウド ギャリー ロデリック, 東 弘一郎	卒業制作のプランについてプレゼンテーションを行う。	2019年度以降の入学者に限る。拡張表現スタジオ3を履修していること。 実務経験教員 対面
YBX3942	拡張表現スタジオ4B	2	1.0	4	秋ABC	随時	村上 史明, 田中 佐代子, 山本 早里, 大友 邦子, 小野 裕子, 齋藤 敏寿, 原 忠信, 宮原 克人, 山本 美希, 勝川 夏樹, 上浦 佑太, マクラウド ギャリー ロデリック, 東 弘一郎	卒業制作を展示しプレゼンテーションを行う。	2019年度以降の入学者に限る。拡張表現スタジオ3を履修していること。 実務経験教員 対面
YBX4012	デザイン基礎演習1	2	2.0	1	春AB	金5, 6	内山 俊朗	立体造形物の表示並びにプレゼンテーションの基礎についての演習を行う。	情報・プロダクト・環境・建築デザイン領域 志望者向け専門科目 実務経験教員 対面
YBX4052	デザイン基礎演習2-I	2	1.0	1	秋A	金5, 6	藤田 直子	ランドスケープの計画・表現の基礎についての演習	情報・プロダクト・環境・建築デザイン領域 志望者向け専門科目 実務経験教員 対面
YBX4062	デザイン基礎演習2-II	2	1.0	1	秋B	金5, 6	岩田 祐佳梨	景観に配慮した建築・都市空間の計画・表現の基礎についての演習。	情報・プロダクト・環境・建築デザイン領域 志望者向け専門科目 実務経験教員 対面
YBX4302	デザイン演習3	2	1.0	2	春C	木4, 5	小山 慎一, 加藤 研	デザインの実践的課題を設定し、コンセプト立案からモデル試作までのデザイン制作の演習を行う。	実務経験教員 対面
YBX4402	デザイン演習4	2	1.0	2	秋A	木4, 5	橋本 剛, 山田 博之	「てらす」をキーワードとしたデザインの実践的課題を設定し、コンセプト立案からモデル試作までのデザイン制作の演習を行う。	実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
YBX4812	アート・デザインプロデュース演習1	2	1.0	1・2	春AB	応談	菅野 圭祐, 原 忠信, 山田 協太, 藤田 直子, マクラウド ギャラリー ロデリック, 岩田 祐佳梨, サカイ ロドリゲス, オスカル エデュアルド, 内山 俊朗	多様な学生のチームが地域や大学の協働者とともにアート・デザインの手法を用いた地域貢献・大学貢献を実践的に行う。	「アート・デザインプロデュース演習2」, 「アート・デザインプロデュース演習3」と併せて履修すること。教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の木曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。 実務経験教員 対面 全体発表スケジュール:1バネル展示:オープンキャンパス時 (@6A棟および5C棟)、2中間発表会:秋A木曜授業の最終日 (18:15~) @6A308 (対面のみ)、3最終発表会:秋C木曜授業の最終日 (18:15~) @6A308 (対面のみ)
YBX4822	アート・デザインプロデュース演習2	2	1.0	1・2	春C秋A	応談	菅野 圭祐, 原 忠信, 山田 協太, 藤田 直子, マクラウド ギャラリー ロデリック, 岩田 祐佳梨, サカイ ロドリゲス, オスカル エデュアルド, 内山 俊朗	多様な学生のチームが地域や大学の協働者とともにアート・デザインの手法を用いた地域貢献・大学貢献を実践的に行う。	「アート・デザインプロデュース演習1」, 「アート・デザインプロデュース演習3」と併せて履修すること。教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の木曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。 実務経験教員 対面 全体発表スケジュール:1バネル展示:オープンキャンパス時 (@6A棟および5C棟)、2中間発表会:秋A木曜授業の最終日 (18:15~) @6A308 (対面のみ)、3最終発表会:秋C木曜授業の最終日 (18:15~) @6A308 (対面のみ)
YBX4832	アート・デザインプロデュース演習3	2	1.0	1・2	秋BC	応談	菅野 圭祐, 原 忠信, 山田 協太, 藤田 直子, マクラウド ギャラリー ロデリック, 岩田 祐佳梨, サカイ ロドリゲス, オスカル エデュアルド, 内山 俊朗	多様な学生のチームが地域や大学の協働者とともにアート・デザインの手法を用いた地域貢献・大学貢献を実践的に行う。	「アート・デザインプロデュース演習1」, 「アート・デザインプロデュース演習2」と併せて履修すること。教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の木曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。 実務経験教員 対面 全体発表スケジュール:1バネル展示:オープンキャンパス時 (@6A棟および5C棟)、2中間発表会:秋A木曜授業の最終日 (18:15~) @6A308 (対面のみ)、3最終発表会:秋C木曜授業の最終日 (18:15~) @6A308 (対面のみ)
YBX5102	創造的復興:ローカルデザイン演習I	2	2.0	3	春A 春A 春BC	金5 金6 金5, 6	原 忠信, 宮原 克人, 村上 史明, マクラウド ギャラリー ロデリック	創造的復興芸術の視点から、地域再生に向けたプランを計画・提案する。その中で、歴史・文化的な資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興に必要な視点を学習する。	「創造的復興:チャレンジ学外演習I」と併せて履修すること。 実務経験教員 対面
YBX5502	創造的復興:ローカルデザイン演習II	2	2.0	4	春A 春A 春BC	金5 金6 金5, 6	原 忠信, 宮原 克人, 村上 史明, マクラウド ギャラリー ロデリック	創造的復興芸術の視点から、地域再生に向けたプランを計画・提案する。その中で、歴史・文化的な資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興に必要な視点を学習する。	「創造的復興:チャレンジ学外演習II」と併せて履修すること。 実務経験教員 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
YBX6002	国際アート&デザイン演習A	2	1.0	2 - 4	春学期	応談	山田 協太, 包 索 米亜, 大友 邦子	アート&デザインの各領域の研究、技法、実践の成果などについて海外研修を通じて学ぶ。	実務経験教員 対面 学外(オンサイト)での実施 国際WS、国際学会発表、海外調査など、自主的に企画、実施し、評価を受ける活動を有する学生のみ履修できます。 事前に担当教員に連絡をすること。
YBX6012	国際アート&デザイン演習B	2	1.0	2 - 4	秋学期	応談	山田 協太, 包 索 米亜, 大友 邦子	アート&デザインの各領域の研究、技法、実践の成果などについて海外研修を通じて学ぶ。	実務経験教員 対面 学外(オンサイト)での実施 国際WS、国際学会発表、海外調査など、自主的に企画、実施し、評価を受ける活動を有する学生のみ履修できます。 事前に担当教員に連絡をすること。
YBX9027	領域研究II(特別履修)	7	1.0	3	秋ABC	随時	山本 浩之	年次ごとの学習計画についてガイダンスと演習指導をおこなう。本科目はJapan-Expert学生もしくは学群長が特別に認めた者に限り履修を認める。	対面
YBX9037	領域特別演習I(特別履修)	7	1.0	3	春ABC	随時	山本 浩之	卒業研究に向けた研究計画の指導をおこなう。本科目はJapan-Expert学生もしくは学群長が特別に認めた者に限り履修を認める。	対面 ・TOEICR IPテストの受験必須 ・自己達成度評価をおこなうこと
YBX9047	領域特別演習II(特別履修)	7	1.0	4	秋ABC	随時	山本 浩之	卒業研究の指導をおこなう。本科目はJapan-Expert学生もしくは学群長が特別に認めた者に限り履修を認める。	対面
YBX9057	領域特別演習III(特別履修)	7	1.0	4	春ABC	随時	山本 浩之	卒業研究の指導をおこなう。本科目はJapan-Expert学生もしくは学群長が特別に認めた者に限り履修を認める。	対面 芸術専門学群が実施する卒業制作展等において成果発表をおこなうこと。
YBX9918	卒業研究A(特別履修)	8	3.0	4	春ABC	随時	山本 浩之	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。本科目はJapan-Expert学生もしくは学群長が特別に認めた者に限り履修を認める。	卒業に必要な単位数の未修得点が30単位以下であること。 対面
YBX9928	卒業研究B(特別履修)	8	3.0	4	秋ABC	随時	山本 浩之	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。本科目はJapan-Expert学生もしくは学群長が特別に認めた者に限り履修を認める。	卒業に必要な単位数の未修得点が30単位以下であること。 対面

専門科目 (Japan-Expert)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2E+06	応用体育剣道(春)	3	0.5	2	春AB	木3	鍋山 隆弘	剣道具を着け稽古ができるまでの基礎的技術と、礼儀作法の習得を通して心身の向上を目指す。	実務経験教員 対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2E+06	応用体育ゴルフ(春)	3	0.5	2	春AB	木3	白木 仁	ゴルフの基本技術(スイング、アプローチショット、パターの技術)を中心にルール、マナー等を段階的に学習する。さらに、ゴルフの実践を通して、パートナーシップ、スポーツマンシップを習得する。また、体力測定を実施することにより自身の体力を確認する。	対面 G科目 クラブは、身長に合わせたクラブを選択する
2E+06	応用体育サッカー(春)	3	0.5	2	春AB	木3	成瀬 和弥	様々なゲーム形式を通じて攻撃・守備の原理や基本技術を身につける。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2E+06	応用体育シューティングスポーツ(春)	3	0.5	2	春AB	木3	嵯峨 寿	アーチェリーの初歩的技術の習得やゲーム体験などを通してスポーツの文化的、社会的、倫理的価値や精神的効果について理解を深めます。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の7日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
2E+06	応用体育柔道(春)	3	0.5	2	春AB	木3	松井 崇	柔道の文化的特性を理解し、基本的な技術を得得して攻防ができるようにする。柔道を通じて体力を養い、他のスポーツにも応用できるバランス感覚や巧緻性などを習得する。	1 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(その他) G科目 道着の下にTシャツの着用可 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2E+06	応用体育ソフトボール(春)	3	0.5	2	春AB	木3	奈良 隆章	ソフトボールの練習や試合を通じて、仲間と協力しながら様々な課題に挑戦する。学期の前半は守備練習を重点的に行い、後半はチームを固定してリーグ戦を実施する。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2E+06	応用体育卓球(春)	3	0.5	2	春AB	木3	野中 由紀	卓球を通してスポーツ活動に関する知識を深める。独特の練習法を用いて、一つの種目をより深く追求することにより、様々な種目に関係する技術を理解させる。ミニゲームにも取り組む。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) G科目
2E+06	応用体育ダンス(春)	3	0.5	2	春AB	木3	平山 素子	「身体の発見」をテーマに、多様なダンス文化に挑戦する。「身体を知る」段階では、導入としてインド式健康法のヨガを体験することで自らの身体を見つめなおし、健康的な身体作りを形成できる能力を養う。さらに、リズムミカルの音楽に合わせた動きを体験することで、フィットネスやコミュニケーションとしてのダンスの効果を知る。	対面 男女別要素(接触) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2E+06	応用体育テニス(春)	3	0.5	2	春AB	木3	前澤 かおる	テニスのルールやマナー、基礎的な技術など、生涯スポーツとしてテニスを楽しむための知識や技能を総合的に学ぶ。主に、ダブルスのプレーを中心に扱うこととする。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
2E+06	応用体育トリム運動(春)	3	0.5	2	春AB	木3	齊藤 まゆみ	体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講する。学習内容は健康・体力に興味を持てる態度を形成することを目的とし、受講生のコンディションにあわせた教材を用意したい。	実務経験教員 対面 G科目
2E+06	応用体育ニュースポーツ(春)	3	0.5	2	春AB	木3	藤本 巳由紀	既成のスポーツ競技や種目にとらわれることなく、新たに開発され、あまり知られていないスポーツ種目(フライングディスク、ユニホック、グランドゴルフなど)や世界各国の伝統的なスポーツ種目(インディアカ、ベタンクなど)を体験する。その実践を通して、自分の体力に応じた「新たなスポーツ」を楽しむ方策などを見つけ出し、スポーツそのものに対する自分の価値観について考えてみる。	対面 男女別要素(接触) G科目
2E+06	応用体育バスケットボール(春)	3	0.5	2	春AB	木3	坂本 拓弥	バスケットボールの特性を理解し、バスケットボールの個人戦術(相手を打ち破る行為、相手からボールを奪う行為)を習得し、個人戦術を活かしたゲームができるようになる。	対面 男女別要素(用具) 男女別要素(接触) G科目
2E+06	応用体育バドミントン(春)	3	0.5	2	春AB	木3	谷藤 千香	バドミントンの特性を理解し、基礎的技術を得得する。仲間とともに楽しくゲームをするには何をすべきか、自分自身や他者との関係を学習するとともに、自分自身の能力を最大限活かしたゲームを展開できるようにする。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2E+06	応用体育ハンドボール(春)	3	0.5	2	春AB	木3	山田 永子	ゲーム活動を通じて、基本的な技術を得得する。	対面 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則、初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事
2E+06	応用体育フィットネストレーニング(春)	3	0.5	2	春AB	木3	谷川 聡	心身の健康維持・増進や生活習慣病の予防と運動・体力の関係を理解した上で、レジスタンストレーニング、ジョギング、ストレッチングを豊かなスポーツ文化として日常生活の中で応用することをめざす。	実務経験教員 対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目 短期留学生在が受講を希望する際は、原則初回授業の3日前までに授業担当教員に連絡し受講許可を得る事

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
2E+06	応用体育野外運動(春)	3	0.5	2	春AB	木3		春学期の授業では、課題解決的なチャレンジクティビティを通じて、1)自己理解を深めること、2)コミュニケーション能力を高め、他者理解を高めること、さらに3)グループ作りの方法について学ぶことを目標にする。	対面 男女別要素(接触) 男女別要素(特別ルール・ペア/チーム分け) G科目
YBW2933	インターンシップ(日本芸術)	3	1.0	4	春ABC	応談	山本 浩之、マクラウド ギャラリーロデリック	芸術・デザインに関する実践的環境について、現場環境に就いて、実際のデザイン実務について実習する。	対面 Japan-Expert学生に限る